

I 神奈川県工業生産の動向

1 概要 ー生産指数は前年比4.6%と7年ぶりに上昇ー

(1) 生産の動向

生産指数(原指数)は、88.7で前年比4.6%上昇し、7年ぶりに上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、Ⅰ期は前期比5.3%上昇し3期連続して上昇、Ⅱ期は同0.1%低下、Ⅲ期も同1.9%低下、Ⅳ期も同0.5%低下しました。

<全国及び局管内の動き>

全国の製造工業指数(原指数)は、102.0で前年比4.4%上昇し、3年ぶりに上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、Ⅰ期は前期比0.2%上昇し4期連続して上昇、Ⅱ期も同1.8%上昇、Ⅲ期も同0.5%上昇、Ⅳ期も同1.6%上昇しました。

関東経済産業局管内の製造工業指数(原指数)は、96.4で前年比4.4%上昇し、3年ぶりに上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、Ⅰ期は前期比0.9%上昇し3期連続して上昇、Ⅱ期も同2.0%上昇、Ⅲ期は同0.6%低下、Ⅳ期は同1.7%上昇しました。

(2) 出荷の動向

出荷指数(原指数)は、87.0で前年比4.8%上昇し、7年ぶりに上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、Ⅰ期は前期比6.3%上昇し3期連続して上昇、Ⅱ期は同0.8%低下、Ⅲ期も同0.7%低下、Ⅳ期も同2.5%低下しました。

(3) 在庫の動向

在庫指数(原指数)は、90.5で前年末比6.0%上昇し、6年ぶりに上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、Ⅰ期は前期末比4.8%低下し4期連続して低下、Ⅱ期は同5.7%上昇、Ⅲ期は同4.0%低下、Ⅳ期は同9.2%上昇しました。

◎ 年間の動き

以上のように、生産・出荷指数(季節調整済指数)は、Ⅰ期は上昇、Ⅱ期、Ⅲ期、Ⅳ期は低下しました。在庫指数(同)の前期末比では、Ⅰ期は低下、Ⅱ期は上昇、Ⅲ期は低下、Ⅳ期は上昇しました。

また、生産・出荷指数(原指数)の前年同期比では、各期とも上昇しました。

在庫指数(同)の前年同期末比はⅠ期、Ⅱ期、Ⅲ期は低下、Ⅳ期は上昇しました。

県内の工業生産は7年ぶりに上昇し、平成29年は輸送機械工業や化学工業などが上昇に寄与しました。

全国の工業生産の前年同期比では、各期とも上昇しました。

(P2図1・表1、P5表3、P6表4 参照)

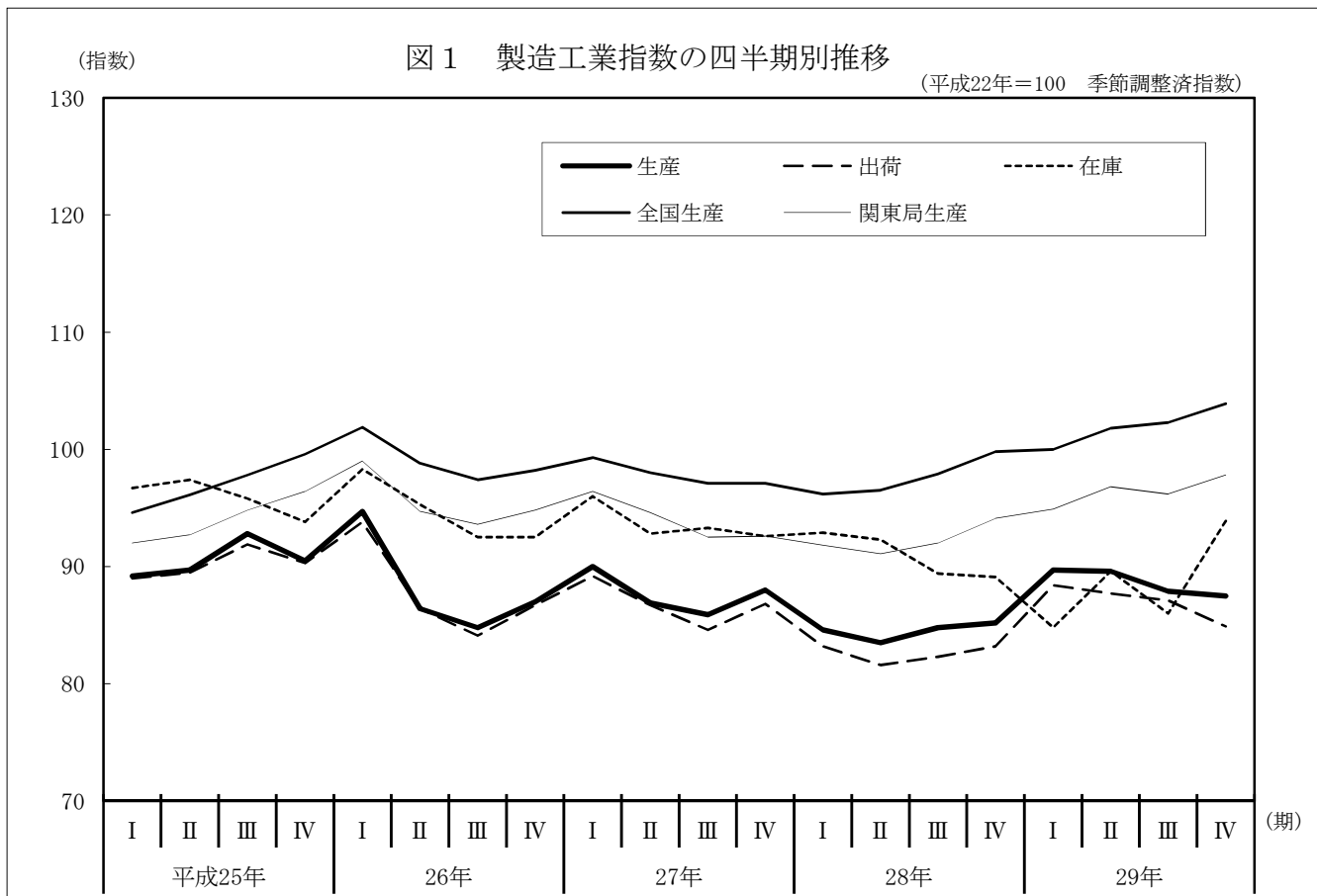


表1 製造工業指数の年別・四半期別推移

(平成22年=100)

		平成25年	26年	27年	28年	29年	29年			
							I	II	III	IV
神奈川県	指数	90.5	88.3	87.5	84.8	88.7	89.7	89.6	87.9	87.5
	生産	対前年(期)増減率% △ 3.3	△ 2.4	△ 0.9	△ 3.1	4.6	5.3	△ 0.1	△ 1.9	△ 0.5
	対前年同期増減率%	-	-	-	-	-	4.9	7.9	3.2	2.6
出荷	指数	90.1	87.7	86.6	83.0	87.0	88.4	87.7	87.1	84.9
	対前年(期)増減率%	△ 4.7	△ 2.7	△ 1.3	△ 4.2	4.8	6.3	△ 0.8	△ 0.7	△ 2.5
	対前年同期増減率%	-	-	-	-	-	4.4	8.3	5.7	1.4
在庫	指数	92.2	89.7	89.1	85.4	90.5	84.8	89.6	86.0	93.9
	対前年(期)末増減率%	△ 0.2	△ 2.7	△ 0.7	△ 4.2	6.0	△ 4.8	5.7	△ 4.0	9.2
	対前年同期末増減率%	-	-	-	-	-	△ 8.9	△ 3.0	△ 4.8	6.0
全国	指数	97.0	99.0	97.8	97.7	102.0	100.0	101.8	102.3	103.9
	生産	対前年(期)増減率% △ 0.8	2.1	△ 1.2	△ 0.1	4.4	0.2	1.8	0.5	1.6
	対前年同期増減率%	-	-	-	-	-	3.5	5.6	4.0	4.6
関東経済産業局管内	指数	94.0	95.5	94.0	92.3	96.4	94.9	96.8	96.2	97.8
	生産	対前年(期)増減率% △ 2.7	1.6	△ 1.6	△ 1.8	4.4	0.9	2.0	△ 0.6	1.7
	対前年同期増減率%	-	-	-	-	-	2.9	6.4	4.3	4.1

* 年指数は原指数、四半期指数は季節調整済指数。ただし、対前年同期(末)増減率は原指数で計算

* 関東経済産業局管内：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県、静岡県の地域

(4) 業種別の動向

<生産>

業種別にみると、小型乗用車やエンジン（自動車用）などが増加した輸送機械工業（前年比 8.8%上昇）や、化粧品などが増加した化学工業（同 8.5%上昇）など 11 業種が上昇しました。

また、パーソナルコンピュータなどが減少した情報通信機械工業（前年比 12.0%低下）など 7 業種が低下しました。

<出荷>

業種別にみると、小型乗用車やエンジン（自動車用）などが増加した輸送機械工業（前年比 9.2%上昇）や、化粧品などが増加した化学工業（同 7.3%上昇）など 12 業種が上昇しました。

また、無線応用装置などが減少した情報通信機械工業（前年比 9.9%低下）など 6 業種が低下しました。

<在庫>

業種別にみると、普通トラックや大型バスなどが増加した輸送機械工業（前年末比 47.8%上昇）やポリエチレンなどが増加した化学工業（同 5.7%上昇）など 11 業種が上昇しました。

また、ガソリンなどが減少した石油・石炭製品工業（前年末比 11.1%低下）など 5 業種が低下しました。

(P 3 図 2、P 4 表 2、P 5 表 3 参照)

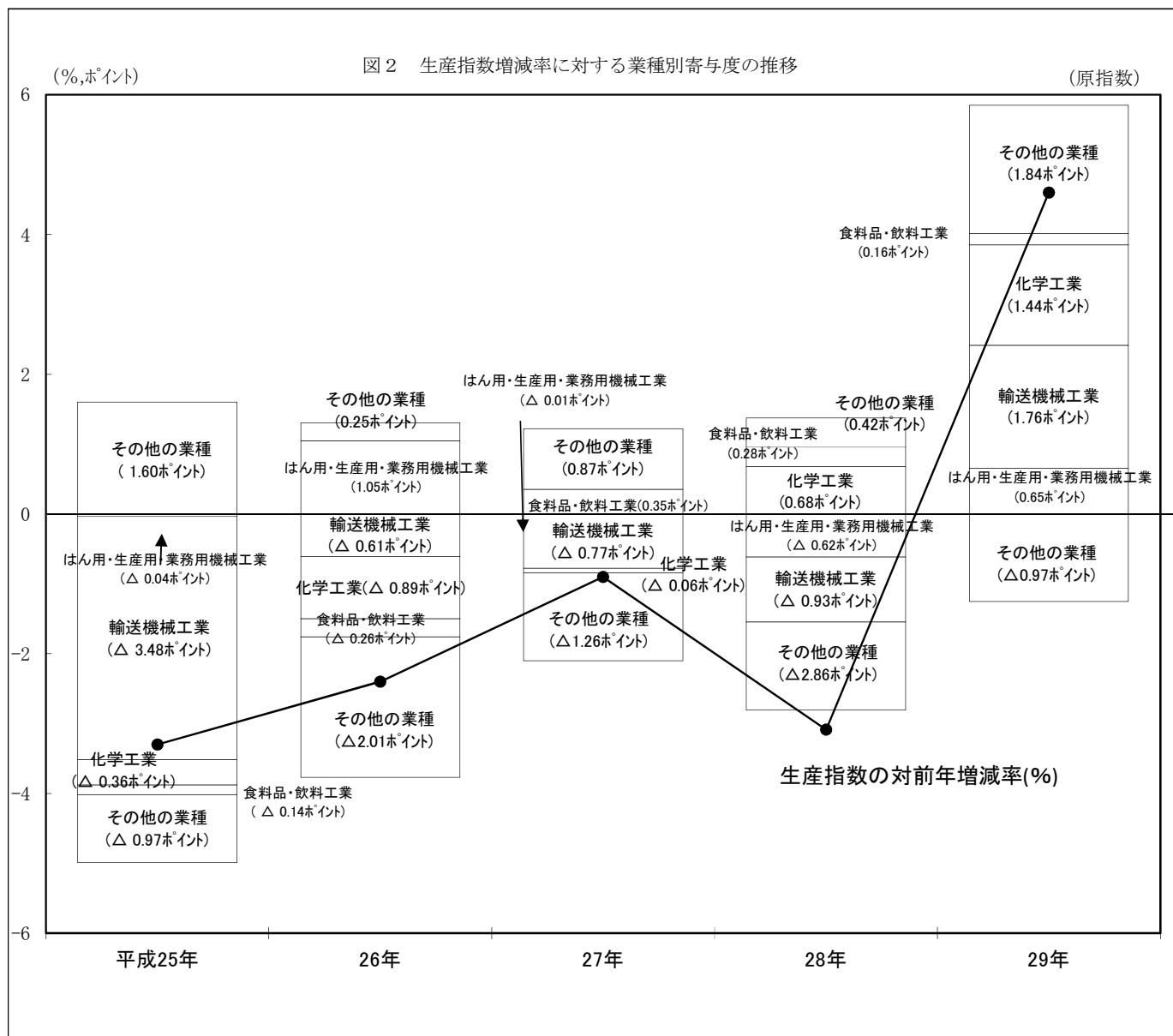


表2 工業生産指数の上昇・低下に寄与した主な業種と品目

(1) 生産 年指数 88.7 対前年増減率 4.6% 上昇11業種、低下7業種

業 種		対前年増減率(%)	寄与度(ポイント)	上昇または低下に寄与した主な品目	
上	輸送機械工業	8.8	1.76	増	小型乗用車、エンジン(自動車用)、駆動伝導・操縦装置部品など
				減	機体部品・付属装置、小型トラック、けん引車など
	化学工業	8.5	1.44	増	化粧品、医薬品、柔軟仕上げ剤など
				減	合成洗剤、合成ゴム、漂白剤など
石油・石炭製品工業	9.4	0.71	増	軽油、ガソリン、ジェット燃料油など	
			減	コークス、A重油、灯油	
はん用・生産用・業務用機械工業	4.7	0.65	増	真空ポンプ、フラットパネル・ディスプレイ製造装置、エレベータなど	
			減	半導体製造装置、マシニングセンタ、建設用クレーンなど	
プラスチック製品工業	11.8	0.52	増	プラスチック製機械器具部品、プラスチック製パイプ	
			減	プラスチック製容器、プラスチック製フィルム・シート、プラスチック製板など	
食料品・飲料工業	1.5	0.16	増	炭酸飲料、ビール・発泡酒、食パンなど	
			減	小麦粉、練乳・粉乳、精製糖など	
低下	情報通信機械工業	△ 12.0	△ 0.86	増	外部記憶装置、ネットワーク接続機器
				減	パーソナルコンピュータ、無線応用装置、デジタル伝送装置など

(2) 出荷 年指数 87.0 対前年増減率 4.8% 上昇12業種、低下6業種

業 種		対前年増減率(%)	寄与度(ポイント)	上昇または低下に寄与した主な品目	
上	輸送機械工業	9.2	2.07	増	小型乗用車、エンジン(自動車用)、駆動伝導・操縦装置部品など
				減	機体部品・付属装置、小型トラック、けん引車など
	化学工業	7.3	0.99	増	化粧品、プロピレン、パラキシレンなど
				減	合成ゴム、合成洗剤、写真フィルムなど
石油・石炭製品工業	5.7	0.98	増	軽油、ガソリン、ジェット燃料油など	
			減	C重油、A重油	
はん用・生産用・業務用機械工業	4.9	0.61	増	フラットパネル・ディスプレイ製造装置、エレベータ、はん用内燃機関など	
			減	半導体製造装置、建設用クレーン、プレス用金型など	
プラスチック製品工業	15.9	0.44	増	プラスチック製機械器具部品、プラスチック製パイプ	
			減	プラスチック製フィルム・シート、プラスチック製容器、プラスチック製板など	
食料品・飲料工業	1.0	0.09	増	炭酸飲料、ビール・発泡酒、混合植物油脂など	
			減	練乳・粉乳、小麦粉、冷凍調理食品など	
低下	情報通信機械工業	△ 9.9	△ 0.53	増	外部記憶装置、ネットワーク接続機器
				減	無線応用装置、パーソナルコンピュータ、デジタル伝送装置など

(3) 在庫 年指数 90.5 対前年末増減率 6.0% 上昇11業種、低下5業種

業 種		対前年末増減率(%)	寄与度(ポイント)	上昇または低下に寄与した主な品目	
上	輸送機械工業	47.8	4.87	増	普通トラック、大型バス、けん引車など
				減	小型トラック
	化学工業	5.7	1.52	増	ポリエチレン、ポリプロピレングリコール、ポリプロピレンなど
				減	ポリスチレン、プロピレン、アンモニアなど
鉄鋼業	4.7	0.67	増	鋼半製品、普通鋼鋼帯、特殊鋼熱間圧延鋼材など	
			減	めっき鋼材、普通鋼鋼板、特殊鋼鋼管など	
食料品・飲料工業	5.1	0.30	増	ビール・発泡酒、チョコレート、果実酒など	
			減	蒸留酒・混成酒(ウイスキー除く)、小麦粉、焼酎など	
低下	石油・石炭製品工業	△ 11.1	△ 1.47	増	軽油、C重油、ジェット燃料油
				減	ガソリン、潤滑油、灯油など
	金属製品工業	△ 13.2	△ 0.65	増	ガス機器、ばね、石油機器など
				減	食缶、一般缶、飲料用アルミ缶など
	はん用・生産用・業務用機械工業	△ 3.0	△ 0.32	増	工業用計重機、はん用内燃機関、包装・荷造機械など
				減	建設用クレーン、掘さく機械、マシニングセンタなど

表 3

業種別年指数・対前年増減率

(平成22年=100 原指数)

業 種	項 目	生 産				出 荷				在 庫				在 庫 率			
		26年	27年	28年	29年	26年	27年	28年	29年	26年	27年	28年	29年	26年	27年	28年	29年
製造工業	指 数	88.3	87.5	84.8	88.7	87.7	86.6	83.0	87.0	89.7	89.1	85.4	90.5	104.0	146.4	118.7	115.7
	対前年増減率%	△ 2.4	△ 0.9	△ 3.1	4.6	△ 2.7	△ 1.3	△ 4.2	4.8	△ 2.7	△ 0.7	△ 4.2	6.0	3.0	40.8	△ 18.9	△ 2.5
鉄鋼業	指 数	94.4	84.2	84.6	81.7	96.5	83.5	82.8	83.6	99.2	90.7	92.1	96.4	107.9	120.0	118.0	125.6
	対前年増減率%	5.0	△ 10.8	0.5	△ 3.4	6.5	△ 13.5	△ 0.8	1.0	△ 4.4	△ 8.6	1.5	4.7	3.8	11.2	△ 1.7	6.4
非鉄金属工業	指 数	104.4	104.3	107.7	109.8	105.1	103.9	107.3	108.0	133.6	116.1	80.7	93.5	120.4	130.4	106.1	86.5
	対前年増減率%	9.3	△ 0.1	3.3	1.9	9.8	△ 1.1	3.3	0.7	△ 1.0	△ 13.1	△ 30.5	15.9	△ 5.4	8.3	△ 18.6	△ 18.5
金属製品工業	指 数	92.4	87.6	83.1	76.1	89.6	85.4	80.8	73.7	107.2	94.9	96.1	83.4	143.8	134.2	173.1	159.7
	対前年増減率%	△ 4.7	△ 5.2	△ 5.1	△ 8.4	△ 4.0	△ 4.7	△ 5.4	△ 8.8	△ 7.3	△ 11.5	1.3	△ 13.2	6.5	△ 6.7	29.0	△ 7.7
はん用・生産用・業務用機械工業	指 数	107.3	107.2	102.5	107.3	102.9	102.0	96.7	101.4	83.6	76.8	89.7	87.0	72.9	128.6	161.9	175.3
	対前年増減率%	8.4	△ 0.1	△ 4.4	4.7	4.5	△ 0.9	△ 5.2	4.9	6.5	△ 8.1	16.8	△ 3.0	△ 6.2	76.4	25.9	8.3
電子部品・デバイス工業	指 数	71.3	64.9	58.3	67.7	70.3	63.9	56.2	66.3	1.6	2.3	1.7	2.5	4.1	3.7	3.9	4.6
	対前年増減率%	△ 5.6	△ 9.0	△ 10.2	16.1	△ 7.7	△ 9.1	△ 12.1	18.0	△ 56.8	43.8	△ 26.1	47.1	△ 96.9	△ 9.8	5.4	17.9
電気機械工業	指 数	88.4	92.1	86.7	86.9	85.9	90.5	84.8	85.0	63.5	63.2	62.5	66.4	78.0	92.6	94.8	97.2
	対前年増減率%	△ 1.3	4.2	△ 5.9	0.2	△ 2.6	5.4	△ 6.3	0.2	9.3	△ 0.5	△ 1.1	6.2	24.4	18.7	2.4	2.5
情報通信機械工業	指 数	97.3	93.4	81.1	71.4	99.0	93.3	81.0	73.0	117.3	113.4	78.7	84.8	194.3	363.0	91.5	46.8
	対前年増減率%	△ 2.3	△ 4.0	△ 13.2	△ 12.0	△ 0.5	△ 5.8	△ 13.2	△ 9.9	7.5	△ 3.3	△ 30.6	7.8	368.2	86.8	△ 74.8	△ 48.9
輸送機械工業	指 数	84.4	81.3	77.6	84.4	80.9	77.8	74.8	81.7	80.3	62.8	64.5	95.3	80.7	310.7	80.1	79.4
	対前年増減率%	△ 2.9	△ 3.7	△ 4.6	8.8	△ 3.1	△ 3.8	△ 3.9	9.2	13.7	△ 21.8	2.7	47.8	△ 9.1	285.0	△ 74.2	△ 0.9
窯業・土石製品工業	指 数	86.5	80.0	84.0	90.1	78.6	72.4	75.3	78.7	70.0	63.6	66.9	73.2	96.3	91.4	110.4	100.2
	対前年増減率%	△ 11.0	△ 7.5	5.0	7.3	△ 11.9	△ 7.9	4.0	4.5	△ 12.5	△ 9.1	5.2	9.4	△ 7.5	△ 5.1	20.8	△ 9.2
化学工業	指 数	77.0	76.7	80.0	86.8	81.3	80.8	82.0	88.0	105.4	116.9	111.0	117.3	124.4	138.5	140.0	137.2
	対前年増減率%	△ 5.5	△ 0.4	4.3	8.5	△ 5.6	△ 0.6	1.5	7.3	△ 3.7	10.9	△ 5.0	5.7	5.5	11.3	1.1	△ 2.0
石油・石炭製品工業	指 数	87.7	93.5	82.6	90.4	88.7	94.0	85.6	90.5	71.7	83.7	65.6	58.3	100.7	96.1	99.2	87.7
	対前年増減率%	△ 6.3	6.6	△ 11.7	9.4	△ 6.6	6.0	△ 8.9	5.7	△ 7.4	16.7	△ 21.6	△ 11.1	6.9	△ 4.6	3.2	△ 11.6
プラスチック製品工業	指 数	70.7	72.9	74.5	83.3	70.7	69.5	70.4	81.6	68.4	78.2	73.7	80.7	107.6	104.8	110.2	89.0
	対前年増減率%	△ 11.2	3.1	2.2	11.8	△ 7.7	△ 1.7	1.3	15.9	△ 28.8	14.3	△ 5.8	9.5	△ 4.1	△ 2.6	5.2	△ 19.2
紙・紙加工品工業	指 数	112.0	114.1	116.2	116.6	107.3	102.3	101.0	105.7	71.0	81.9	108.8	98.1	74.7	71.6	97.8	99.8
	対前年増減率%	2.2	1.9	1.8	0.3	△ 0.2	△ 4.7	△ 1.3	4.7	△ 17.4	15.4	32.8	△ 9.8	△ 12.8	△ 4.1	36.6	2.0
繊維工業	指 数	82.6	88.7	86.0	82.8	75.0	80.9	81.5	78.3	73.3	80.2	81.4	69.3	99.6	91.9	100.2	95.0
	対前年増減率%	△ 10.2	7.4	△ 3.0	△ 3.7	△ 17.4	7.9	0.7	△ 3.9	△ 1.5	9.4	1.5	△ 14.9	11.8	△ 7.7	9.0	△ 5.2
食料品・飲料工業	指 数	95.0	98.4	101.1	102.6	96.0	97.9	97.9	98.9	108.3	110.6	117.7	123.7	101.8	101.5	103.5	106.7
	対前年増減率%	△ 2.7	3.6	2.7	1.5	△ 1.0	2.0	0.0	1.0	5.1	2.1	6.4	5.1	8.0	△ 0.3	2.0	3.1
その他工業	指 数	106.3	102.7	99.5	95.4	104.2	99.9	99.3	94.0	92.2	93.2	73.1	73.7	111.0	131.5	140.8	132.0
	対前年増減率%	△ 2.9	△ 3.4	△ 3.1	△ 4.1	△ 1.2	△ 4.1	△ 0.6	△ 5.3	△ 20.8	1.1	△ 21.6	0.8	△ 7.0	18.5	7.1	△ 6.3
ゴム製品工業	指 数	94.7	85.6	66.1	63.5	98.9	88.4	70.7	67.0	92.2	93.2	73.1	73.7	111.0	131.5	140.8	132.0
	対前年増減率%	△ 4.3	△ 9.6	△ 22.8	△ 3.9	△ 1.2	△ 10.6	△ 20.0	△ 5.2	△ 20.8	1.1	△ 21.6	0.8	△ 7.0	18.5	7.1	△ 6.3
家具工業	指 数	99.0	106.8	152.1	140.1	98.8	107.2	153.7	141.5								
	対前年増減率%	2.5	7.9	42.4	△ 7.9	2.4	8.5	43.4	△ 7.9	-	-	-	-	-	-	-	-
印刷業	指 数	117.3	116.0	116.3	112.5	117.3	116.0	116.3	112.5								
	対前年増減率%	△ 3.0	△ 1.1	0.3	△ 3.3	△ 3.0	△ 1.1	0.3	△ 3.3	-	-	-	-	-	-	-	-
(参考)公益事業	指 数	110.1	107.2	113.6	111.3	90.1	86.7	87.7	87.8								
	対前年増減率%	△ 2.2	△ 2.6	6.0	△ 2.0	△ 1.7	△ 3.8	1.2	0.1	-	-	-	-	-	-	-	-
(参考)機械工業	指 数	91.4	89.4	83.8	87.1	87.8	85.2	80.1	84.5	81.4	69.9	74.2	89.2	81.8	227.0	112.0	115.0
	対前年増減率%	0.0	△ 2.2	△ 6.3	3.9	△ 1.0	△ 3.0	△ 6.0	5.5	10.1	△ 14.1	6.2	20.2	0.9	177.5	△ 50.7	2.7

*生産・出荷・在庫率は年平均(年平均比)、在庫は年末(年末比)

*公益事業、機械工業は参考系列(P83 業種分類参照)

表 4

平成29年業種別四半期指数・対前期増減率

(平成22年=100 季節調整済指数)

業 種	項 目	生 産				出 荷				在 庫				在 庫 率			
		I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV
製造工業	指 数	89.7	89.6	87.9	87.5	88.4	87.7	87.1	84.9	84.8	89.6	86.0	93.9	115.8	118.1	117.8	111.2
	対前期増減率%	5.3	△ 0.1	△ 1.9	△ 0.5	6.3	△ 0.8	△ 0.7	△ 2.5	△ 4.8	5.7	△ 4.0	9.2	4.0	2.0	△ 0.3	△ 5.6
鉄鋼業	指 数	84.6	83.2	77.0	81.1	82.6	84.4	87.0	79.5	96.5	96.6	81.9	98.6	123.2	119.5	131.5	128.4
	対前期増減率%	△ 1.5	△ 1.7	△ 7.5	5.3	0.1	2.2	3.1	△ 8.6	2.8	0.1	△ 15.2	20.4	1.3	△ 3.0	10.0	△ 2.4
非鉄金属工業	指 数	110.7	107.5	107.6	114.5	107.9	105.5	105.7	113.6	81.0	84.6	86.1	91.9	83.4	85.5	88.2	88.5
	対前期増減率%	3.2	△ 2.9	0.1	6.4	△ 0.7	△ 2.2	0.2	7.5	△ 0.1	4.4	1.8	6.7	△ 7.3	2.5	3.2	0.3
金属製品工業	指 数	81.9	76.1	74.4	72.3	80.9	66.9	72.4	74.8	80.5	91.3	89.2	85.2	150.2	185.6	159.3	145.3
	対前期増減率%	2.5	△ 7.1	△ 2.2	△ 2.8	3.9	△ 17.3	8.2	3.3	△ 18.7	13.4	△ 2.3	△ 4.5	△ 23.4	23.6	△ 14.2	△ 8.8
はん用・生産用・業務用機械工業	指 数	113.2	106.6	103.6	102.4	107.8	101.2	98.5	95.2	88.3	80.3	85.0	85.9	161.4	182.7	193.0	159.0
	対前期増減率%	8.5	△ 5.8	△ 2.8	△ 1.2	11.0	△ 6.1	△ 2.7	△ 3.4	△ 1.1	△ 9.1	5.9	1.1	△ 13.7	13.2	5.6	△ 17.6
電子部品・デバイス工業	指 数	67.9	65.7	66.4	70.8	67.1	64.2	64.4	69.9	2.2	3.2	4.8	3.4	3.1	4.3	6.0	4.5
	対前期増減率%	2.3	△ 3.2	1.1	6.6	3.1	△ 4.3	0.3	8.5	△ 4.3	45.5	50.0	△ 29.2	△ 6.1	38.7	39.5	△ 25.0
電気機械工業	指 数	85.4	88.0	87.3	89.8	83.7	85.4	82.8	88.0	60.5	61.4	63.4	65.9	97.6	94.4	99.5	97.2
	対前期増減率%	8.5	3.0	△ 0.8	2.9	8.7	2.0	△ 3.0	6.3	△ 4.1	1.5	3.3	3.9	△ 2.6	△ 3.3	5.4	△ 2.3
情報通信機械工業	指 数	79.2	69.4	68.4	67.0	76.9	71.1	72.0	69.6	80.0	40.9	43.5	66.4	64.1	29.5	41.3	60.5
	対前期増減率%	3.0	△ 12.4	△ 1.4	△ 2.0	0.9	△ 7.5	1.3	△ 3.3	15.4	△ 48.9	6.4	52.6	33.5	△ 54.0	40.0	46.5
輸送機械工業	指 数	83.1	87.4	86.6	81.6	82.6	84.1	84.7	76.9	57.1	78.5	79.7	112.4	71.8	93.8	77.1	77.7
	対前期増減率%	3.6	5.2	△ 0.9	△ 5.8	5.8	1.8	0.7	△ 9.2	△ 30.7	37.5	1.5	41.0	18.5	30.6	△ 17.8	0.8
窯業・土石製品工業	指 数	88.1	91.7	89.6	90.0	76.5	79.0	79.0	79.2	66.3	74.3	73.9	75.5	97.6	102.2	94.8	107.0
	対前期増減率%	0.0	4.1	△ 2.3	0.4	△ 1.2	3.3	0.0	0.3	△ 4.2	12.1	△ 0.5	2.2	2.0	4.7	△ 7.2	12.9
化学工業	指 数	87.3	87.2	86.1	85.7	87.9	87.0	90.1	87.0	109.3	116.2	117.9	117.0	130.8	136.0	138.6	143.7
	対前期増減率%	6.6	△ 0.1	△ 1.3	△ 0.5	4.9	△ 1.0	3.6	△ 3.4	△ 0.1	6.3	1.5	△ 0.8	△ 5.8	4.0	1.9	3.7
石油・石炭製品工業	指 数	90.7	95.7	89.0	86.1	90.0	95.0	90.3	87.2	71.5	75.8	60.8	62.2	90.3	84.8	83.9	91.0
	対前期増減率%	30.7	5.5	△ 7.0	△ 3.3	14.1	5.6	△ 4.9	△ 3.4	2.9	6.0	△ 19.8	2.3	△ 8.0	△ 6.1	△ 1.1	8.5
プラスチック製品工業	指 数	82.5	81.1	83.6	84.8	81.1	80.3	81.4	82.0	74.0	69.8	73.7	83.2	88.5	85.0	89.8	92.3
	対前期増減率%	9.9	△ 1.7	3.1	1.4	12.0	△ 1.0	1.4	0.7	△ 4.0	△ 5.7	5.6	12.9	△ 11.9	△ 4.0	5.6	2.8
紙・紙加工品工業	指 数	115.3	116.6	117.1	116.9	105.9	107.1	103.5	105.1	139.3	112.8	116.6	110.7	111.0	95.5	100.5	94.1
	対前期増減率%	△ 1.1	1.1	0.4	△ 0.2	3.4	1.1	△ 3.4	1.5	13.2	△ 19.0	3.4	△ 5.1	9.0	△ 14.0	5.2	△ 6.4
繊維工業	指 数	79.2	82.8	84.2	84.6	73.4	76.3	79.5	87.1	63.6	64.4	66.0	59.8	104.0	98.0	95.0	84.7
	対前期増減率%	△ 2.1	4.5	1.7	0.5	△ 1.3	4.0	4.2	9.6	△ 9.8	1.3	2.5	△ 9.4	△ 11.1	△ 5.8	△ 3.1	△ 10.8
食料品・飲料工業	指 数	102.7	102.9	102.8	101.5	99.7	98.7	99.1	97.6	118.1	115.0	120.4	126.5	107.6	104.3	107.0	108.6
	対前期増減率%	0.4	0.2	△ 0.1	△ 1.3	1.5	△ 1.0	0.4	△ 1.5	△ 4.3	△ 2.6	4.7	5.1	△ 1.1	△ 3.1	2.6	1.5
その他工業	指 数	98.9	94.7	91.7	95.6	100.4	92.6	89.0	96.0	81.4	67.2	84.3	82.6	136.6	123.0	137.3	129.6
	対前期増減率%	△ 0.8	△ 4.2	△ 3.2	4.3	1.3	△ 7.8	△ 3.9	7.9	△ 2.0	△ 17.4	25.4	△ 2.0	△ 0.1	△ 10.0	11.6	△ 5.6
ゴム製品工業	指 数	62.6	62.3	63.6	65.4	66.8	69.1	64.6	70.4	81.4	67.2	84.3	82.6	136.6	123.0	137.3	129.6
	対前期増減率%	△ 1.4	△ 0.5	2.1	2.8	0.5	3.4	△ 6.5	9.0	△ 2.0	△ 17.4	25.4	△ 2.0	△ 0.1	△ 10.0	11.6	△ 5.6
家具工業	指 数	164.6	125.0	124.9	136.7	167.2	126.9	125.4	137.4								
	対前期増減率%	△ 0.2	△ 24.1	△ 0.1	9.4	△ 0.7	△ 24.1	△ 1.2	9.6	-	-	-	-	-	-	-	-
印刷業	指 数	113.5	114.7	109.4	112.8	113.5	114.7	109.6	113.1								
	対前期増減率%	△ 3.9	1.1	△ 4.6	3.1	△ 4.0	1.1	△ 4.4	3.2	-	-	-	-	-	-	-	-
(参考)公益事業	指 数	112.6	111.5	108.3	111.5	87.8	87.4	87.7	88.4	-	-	-	-	-	-	-	-
	対前期増減率%	△ 2.3	△ 1.0	△ 2.9	3.0	△ 2.3	△ 0.5	0.3	0.8	-	-	-	-	-	-	-	-
(参考)機械工業	指 数	88.4	88.3	86.5	85.0	86.9	85.5	84.5	81.2	70.1	76.9	79.4	96.3	114.0	120.5	123.5	101.9
	対前期増減率%	4.1	△ 0.1	△ 2.0	△ 1.7	5.8	△ 1.6	△ 1.2	△ 3.9	△ 15.2	9.7	3.3	21.3	13.3	5.7	2.5	△ 17.5

*生産・出荷・在庫率は3か月平均(3か月平均比)、在庫は期末(期末比)

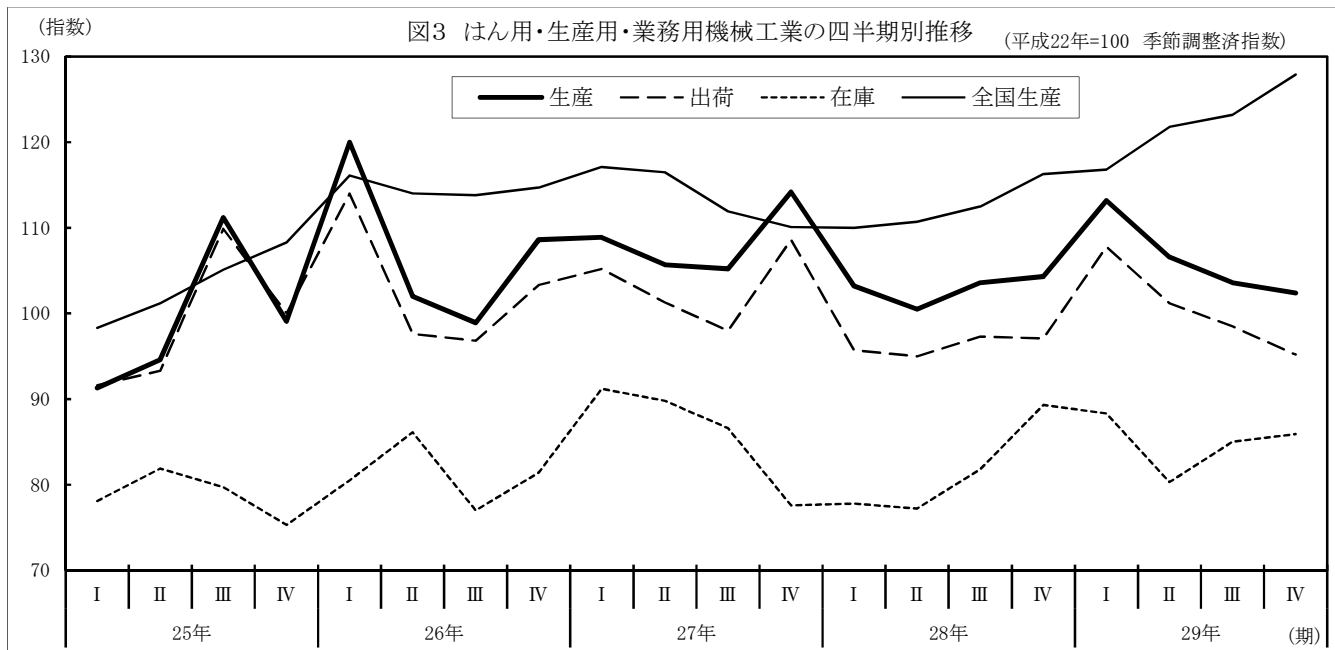
*公益事業、機械工業は参考系列(P83 業種分類参照)

2 各業種の動向

(1) 主要業種の動向

<はん用・生産用・業務用機械工業>

－生産、出荷とも3年ぶりの上昇－



<生産>

生産指数(原指数)は、107.3で前年比4.7%上昇し、3年ぶりに上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比8.5%上昇、II期は同5.8%低下、III期も同2.8%低下、IV期も同1.2%低下しました。

品目別にみると、真空ポンプやフラットパネル・ディスプレイ製造装置などが増加し、半導体製造装置などが減少しました。

また、全国のはん用・生産用・業務用機械工業の生産指数(原指数)は、122.3で前年比8.7%上昇し、3年ぶりに上昇しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、101.4で前年比4.9%上昇し、3年ぶりに上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比11.0%上昇、II期は同6.1%低下、III期も同2.7%低下、IV期も同3.4%低下しました。

品目別にみると、フラットパネル・ディスプレイ製造装置やエレベータなどが増加し、半導体製造装置などが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、87.0で前年末比3.0%低下し、2年ぶりに低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期末比1.1%低下、II期も同9.1%低下、III期は同5.9%上昇、IV期も同1.1%上昇しました。

品目別にみると、建設用クレーンや掘さく機械などが減少し、工業用計重機などが増加しました。

表5 はん用・生産用・業務用機械工業指数の年別・四半期別推移と上昇又は低下に寄与した主な品目

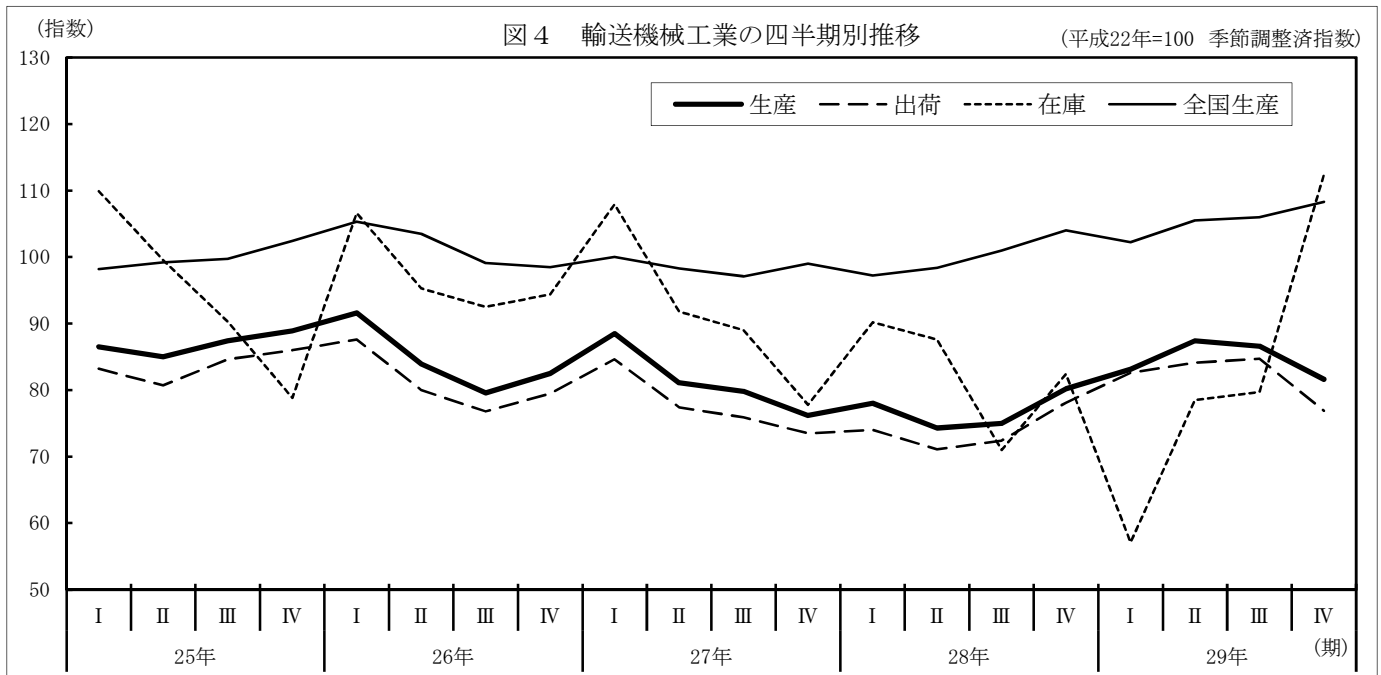
		28年	29年	上 昇 又 は 低 下 に 寄 与 し た 主 な 品 目				
				I	II	III	IV	
生産	指 数	102.5	107.3	113.2	106.6	103.6	102.4	増 真空ポンプ、フラットパネル・ディスプレイ製造装置、エレベータなど 減 半導体製造装置、マシニングセンタなど
	対前年(期)増減率%	△ 4.4	4.7	8.5	△ 5.8	△ 2.8	△ 1.2	
出荷	指 数	96.7	101.4	107.8	101.2	98.5	95.2	増 フラットパネル・ディスプレイ製造装置、エレベータ、はん用内燃機関など 減 半導体製造装置、建設用クレーンなど
	対前年(期)増減率%	△ 5.2	4.9	11.0	△ 6.1	△ 2.7	△ 3.4	
在庫	指 数	89.7	87.0	88.3	80.3	85.0	85.9	増 工業用計重機、はん用内燃機関など 減 建設用クレーン、掘さく機械、マシニングセンタなど
	対前年(期)末増減率%	16.8	△ 3.0	△ 1.1	△ 9.1	5.9	1.1	

*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

*品目順は寄与度順に列記

< 輸送機械工業 >

—生産、出荷とも5年ぶりの上昇—



<生産>

生産指数(原指数)は、84.4で前年比8.8%上昇し、5年ぶりに上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比3.6%上昇、II期も同5.2%上昇、III期は同0.9%低下、IV期も同5.8%低下しました。

品目別にみると、小型乗用車やエンジン(自動車用)などが増加し、機体部品・付属装置などが減少しました。

また、全国の輸送機械工業の生産指数(原指数)は、105.5で前年比5.4%上昇し、2年連続して上昇しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、81.7で前年比9.2%上昇し、5年ぶりに上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比5.8%上昇、II期も同1.8%上昇、III期も同0.7%上昇、IV期は同9.2%低下しました。

品目別にみると、小型乗用車やエンジン(自動車用)などが増加し、機体部品・付属装置などが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、95.3で前年末比47.8%上昇し、2年連続して上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期末比30.7%低下、II期は同37.5%上昇、III期も同1.5%上昇、IV期も同41.0%上昇しました。

品目別にみると、普通トラックや大型バスなどが増加し、小型トラックが減少しました。

表6 輸送機械工業指数の年別・四半期別推移と上昇又は低下に寄与した主な品目

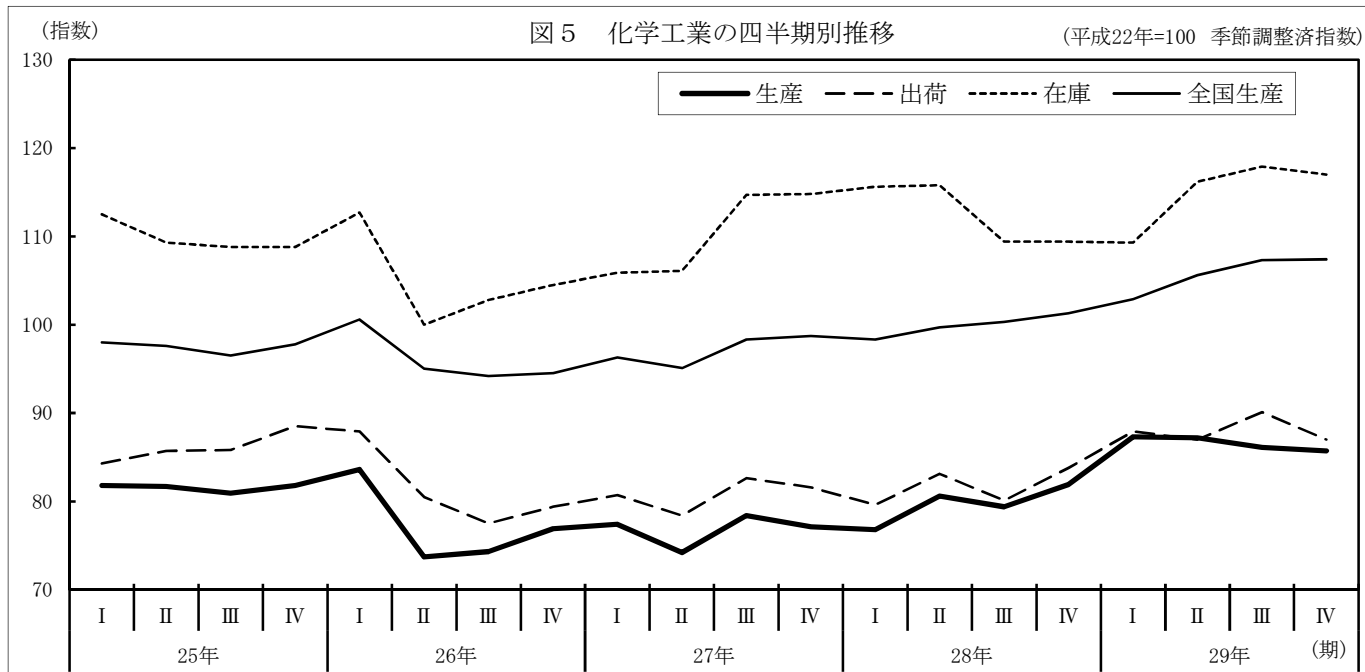
		28年		29年				上昇又は低下に寄与した主な品目
		指数	対前年(期)増減率%	I	II	III	IV	
生産	指数	77.6	84.4	83.1	87.4	86.6	81.6	増 小型乗用車、エンジン(自動車用)、駆動伝導・操縦装置部品など 減 機体部品・付属装置、小型トラックなど
	対前年(期)増減率%	△ 4.6	8.8	3.6	5.2	△ 0.9	△ 5.8	
出荷	指数	74.8	81.7	82.6	84.1	84.7	76.9	増 小型乗用車、エンジン(自動車用)、駆動伝導・操縦装置部品など 減 機体部品・付属装置、小型トラックなど
	対前年(期)増減率%	△ 3.9	9.2	5.8	1.8	0.7	△ 9.2	
在庫	指数	64.5	95.3	57.1	78.5	79.7	112.4	増 普通トラック、大型バス、けん引車など 減 小型トラック
	対前年(期)末増減率%	2.7	47.8	△ 30.7	37.5	1.5	41.0	

*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

*品目順は寄与度順に列記

<化学工業>

—生産、出荷とも2年連続の上昇—



<生産>

生産指数(原指数)は、86.8で前年比8.5%上昇し、2年連続して上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比6.6%上昇、II期は同0.1%低下、III期も同1.3%低下、IV期も同0.5%低下しました。

品目別にみると、化粧品や医薬品などが増加し、合成洗剤などが減少しました。

また、全国の化学工業の生産指数(原指数)は、105.7で前年比5.6%上昇し、3年連続して上昇しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、88.0で前年比7.3%上昇し、2年連続して上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比4.9%上昇、II期は同1.0%低下、III期は同3.6%上昇、IV期は同3.4%低下しました。

品目別にみると、化粧品やプロピレンなどが増加し、合成ゴムなどが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、117.3で前年末比5.7%上昇し、2年ぶりに上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期末比0.1%低下、II期は同6.3%上昇、III期も同1.5%上昇、IV期は同0.8%低下しました。

品目別にみると、ポリエチレンやポリプロピレングリコールなどが増加し、ポリスチレンなどが減少しました。

表7 化学工業指数の年別・四半期別推移と上昇又は低下に寄与した主な品目

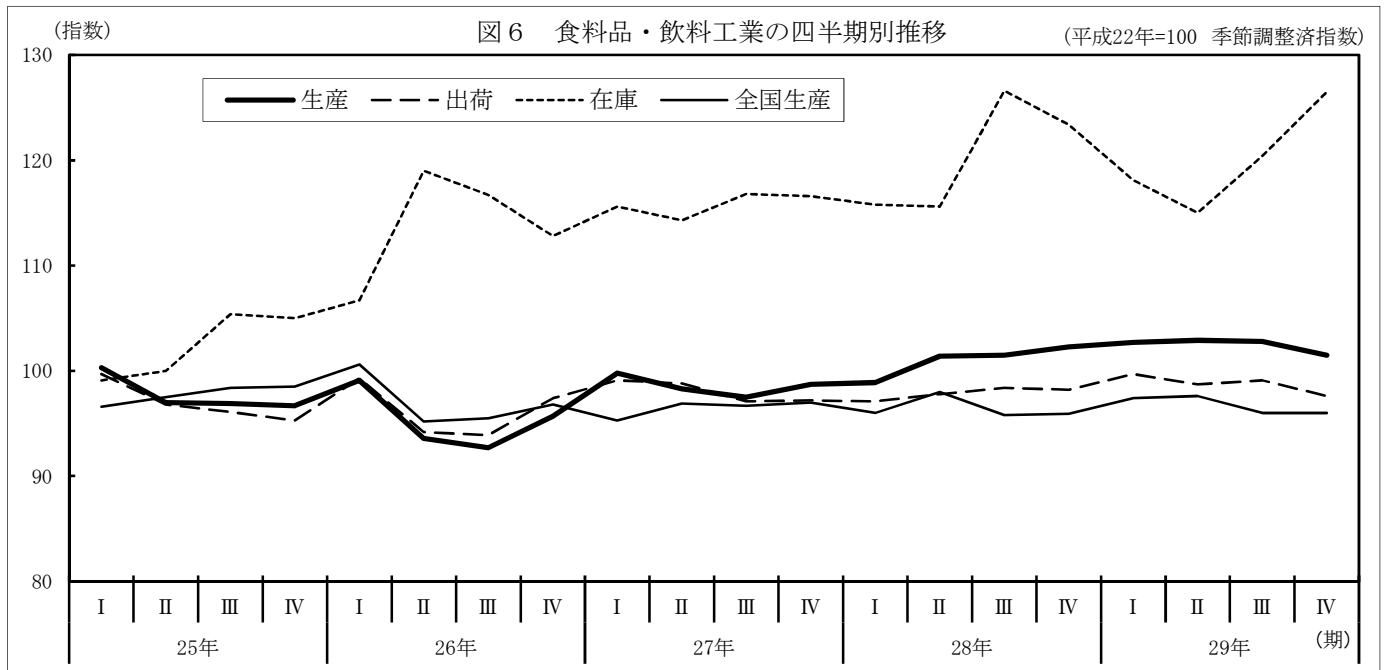
		28年	29年	29年				上昇又は低下に寄与した主な品目
				I	II	III	IV	
生産	指数	80.0	86.8	87.3	87.2	86.1	85.7	増 化粧品、医薬品、柔軟仕上げ剤など 減 合成洗剤、合成ゴムなど
	対前年(期)増減率%	4.3	8.5	6.6	△ 0.1	△ 1.3	△ 0.5	
出荷	指数	82.0	88.0	87.9	87.0	90.1	87.0	増 化粧品、プロピレン、パラキシレンなど 減 合成ゴム、合成洗剤など
	対前年(期)増減率%	1.5	7.3	4.9	△ 1.0	3.6	△ 3.4	
在庫	指数	111.0	117.3	109.3	116.2	117.9	117.0	増 ポリエチレン、ポリプロピレングリコール、ポリプロピレンなど 減 ポリスチレン、プロピレンなど
	対前年(期)末増減率%	△ 5.0	5.7	△ 0.1	6.3	1.5	△ 0.8	

*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

*品目順は寄与度順に列記

<食料品・飲料工業>

—生産は3年連続の上昇、出荷は2年ぶりの上昇—



<生産>

生産指数(原指数)は、102.6で前年比1.5%上昇し、3年連続して上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比0.4%上昇、II期も同0.2%上昇、III期は同0.1%低下、IV期も同1.3%低下しました。

品目別にみると、炭酸飲料やビール・発泡酒などが増加し、小麦粉などが減少しました。

また、全国の食料品・たばこ工業の生産指数(原指数)は、96.6で前年比0%で横ばいでした。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、98.9で前年比1.0%上昇し、2年ぶりに上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比1.5%上昇、II期は同1.0%低下、III期は同0.4%上昇、IV期は同1.5%低下しました。

品目別にみると、炭酸飲料やビール・発泡酒などが増加し、練乳・粉乳などが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、123.7で前年末比5.1%上昇し、5年連続して上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期末比4.3%低下、II期も同2.6%低下、III期は同4.7%上昇、IV期も同5.1%上昇しました。

品目別にみると、ビール・発泡酒やチョコレートなどが増加し、蒸留酒・混成酒(ウイスキー除く)などが減少しました。

表8 食料品・飲料工業指数の年別・四半期別推移と上昇又は低下に寄与した主な品目

		28年	29年	29年				上昇又は低下に寄与した主な品目	
				I	II	III	IV		
生産	指数	101.1	102.6	102.7	102.9	102.8	101.5	増 炭酸飲料、ビール・発泡酒、食パンなど 減 小麦粉、練乳・粉乳など	
	対前年(期)増減率%	2.7	1.5	0.4	0.2	△ 0.1	△ 1.3		
出荷	指数	97.9	98.9	99.7	98.7	99.1	97.6	増 炭酸飲料、ビール・発泡酒、混合植物油脂など 減 練乳・粉乳、小麦粉など	
	対前年(期)増減率%	0.0	1.0	1.5	△ 1.0	0.4	△ 1.5		
在庫	指数	117.7	123.7	118.1	115.0	120.4	126.5	増 ビール・発泡酒、チョコレート、果実酒など 減 蒸留酒・混成酒(ウイスキー除く)、小麦粉など	
	対前年(期)末増減率%	6.4	5.1	△ 4.3	△ 2.6	4.7	5.1		

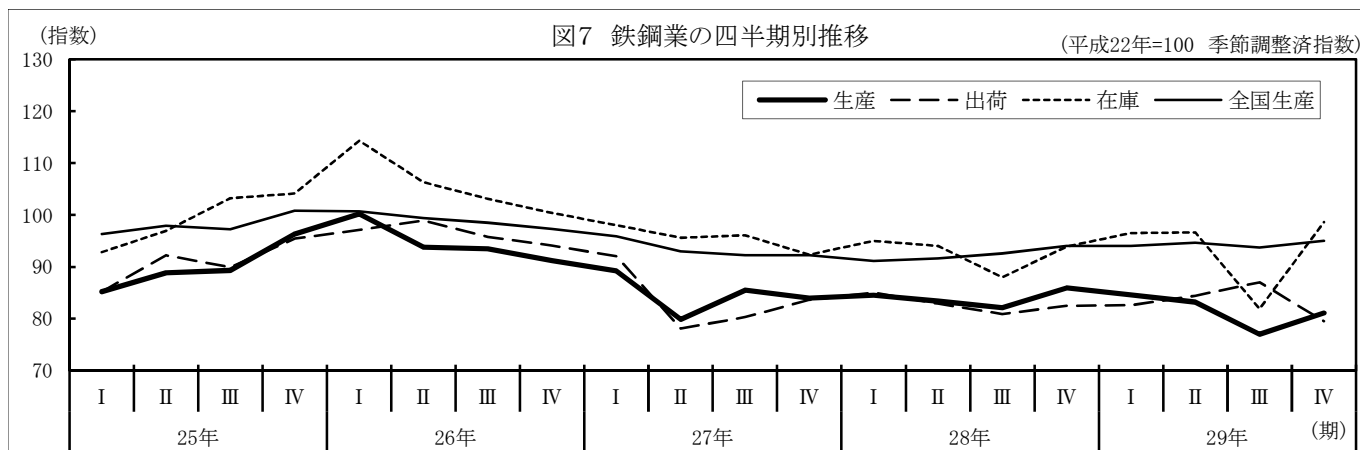
*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

*品目順は寄与度順に列記

(2) その他の業種の動向

<鉄鋼業>

－生産は2年ぶりの低下、出荷は3年ぶりの上昇－



<生産>

生産指数(原指数)は、81.7で前年比3.4%低下し、2年ぶりに低下しました。
品目別にみると、めっき鋼材や特殊鋼熱間圧延鋼材などが減少し、銑鉄鋳物などが増加しました。
また、全国の鉄鋼業の生産指数(同)は、94.4で前年比2.2%上昇し、3年ぶりに上昇しました。

<出荷>

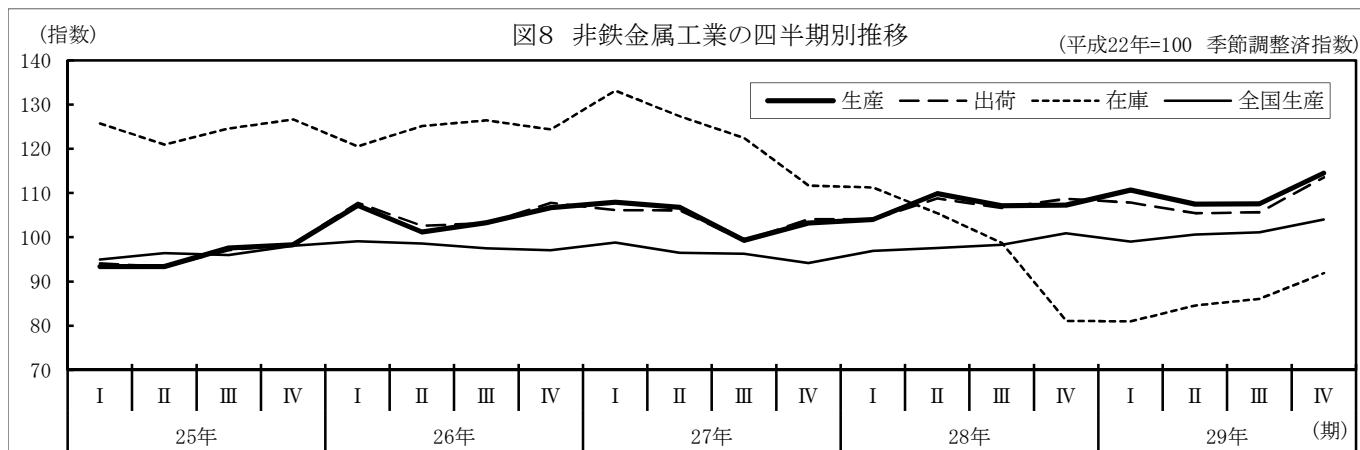
出荷指数(原指数)は、83.6で前年比1.0%上昇し、3年ぶりに上昇しました。
品目別にみると、普通鋼鋼板や鋼半製品などが増加し、特殊鋼熱間圧延鋼材などが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、96.4で前年末比4.7%上昇し、2年連続して上昇しました。
品目別にみると、鋼半製品や普通鋼鋼帯などが増加し、めっき鋼材などが減少しました。

<非鉄金属工業>

－生産、出荷とも2年連続の上昇－



<生産>

生産指数(原指数)は、109.8で前年比1.9%上昇し、2年連続して上昇しました。
品目別にみると、伸銅製品やダイカストなどが増加し、光ファイバなどが減少しました。
また、全国の非鉄金属工業の生産指数(同)は、101.1で前年比2.6%上昇し、2年連続して上昇しました。

<出荷>

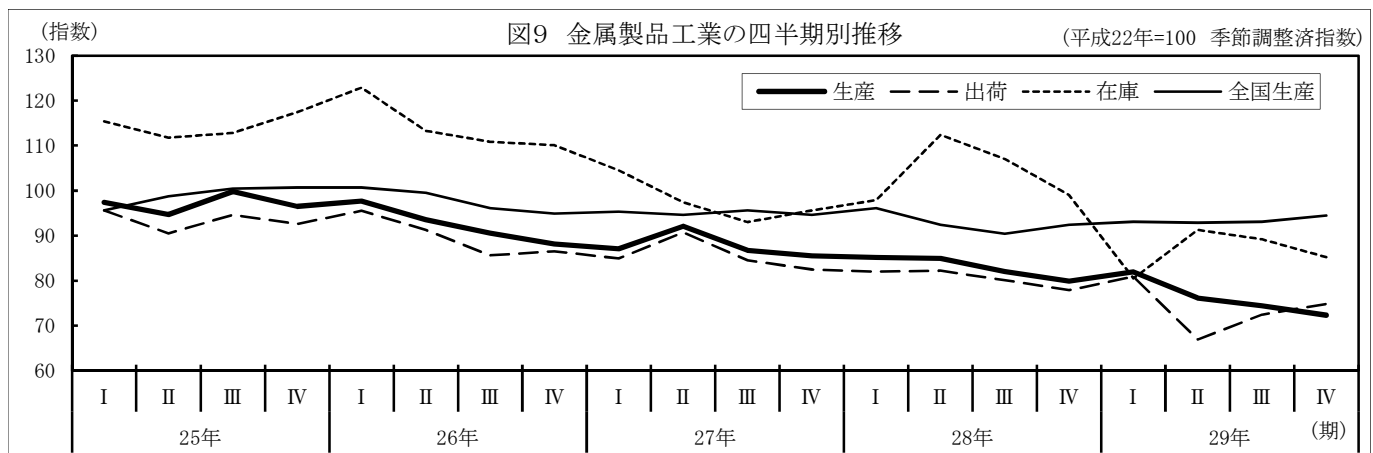
出荷指数(原指数)は、108.0で前年比0.7%上昇し、2年連続して上昇しました。
品目別にみると、伸銅製品やダイカストなどが増加し、光ファイバなどが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、93.5で前年末比15.9%上昇し、4年ぶりに上昇しました。
品目別にみると、伸銅製品や光ファイバなどが増加し、銅電線が減少しました。

<金属製品工業>

—生産、出荷とも5年連続の低下—



<生産>

生産指数(原指数)は、76.1で前年比8.4%低下し、5年連続して低下しました。
品目別にみると、食缶や飲料用アルミ缶などが減少し、アルミサッシなどが増加しました。
また、全国の金属製品工業の生産指数(同)は、93.4で前年比0.6%上昇し、5年ぶりに上昇しました。

<出荷>

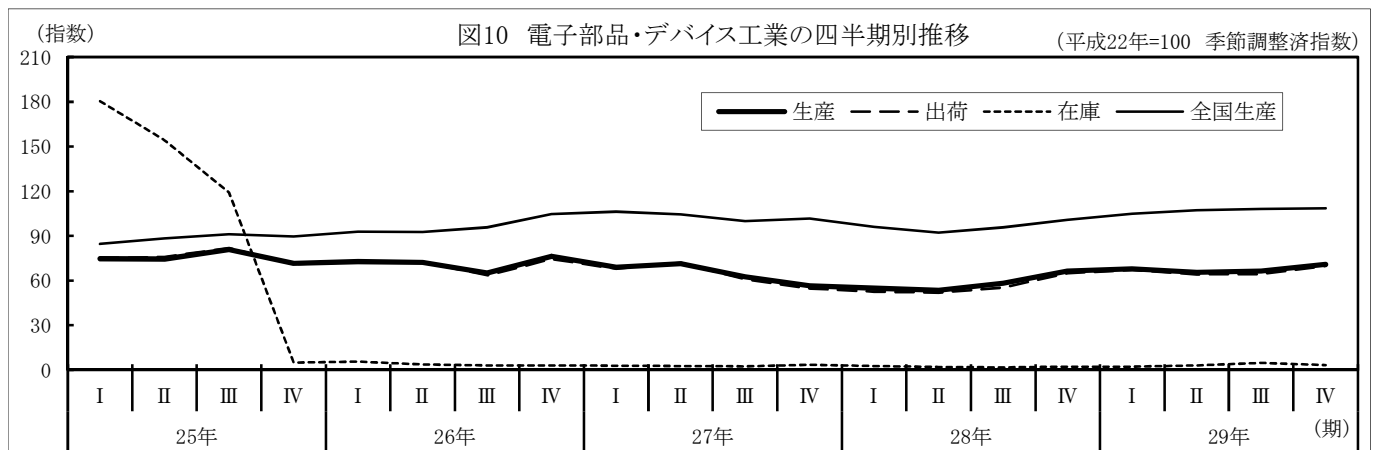
出荷指数(原指数)は、73.7で前年比8.8%低下し、5年連続して低下しました。
品目別にみると、食缶や飲料用アルミ缶などが減少し、アルミサッシなどが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、83.4で前年末比13.2%低下し、2年ぶりに低下しました。
品目別にみると、食缶や一般缶などが減少し、ガス機器などが増加しました。

<電子部品・デバイス工業>

—生産、出荷とも7年ぶりの上昇—



<生産>

生産指数(原指数)は、67.7で前年比16.1%上昇し、7年ぶりに上昇しました。
品目別にみると、モス型半導体集積回路(CCD)やモス型半導体集積回路(論理素子)などが増加しました。
また、全国の電子部品・デバイス工業の生産指数(同)は、107.2で前年比11.2%上昇し、2年ぶりに上昇しました。

<出荷>

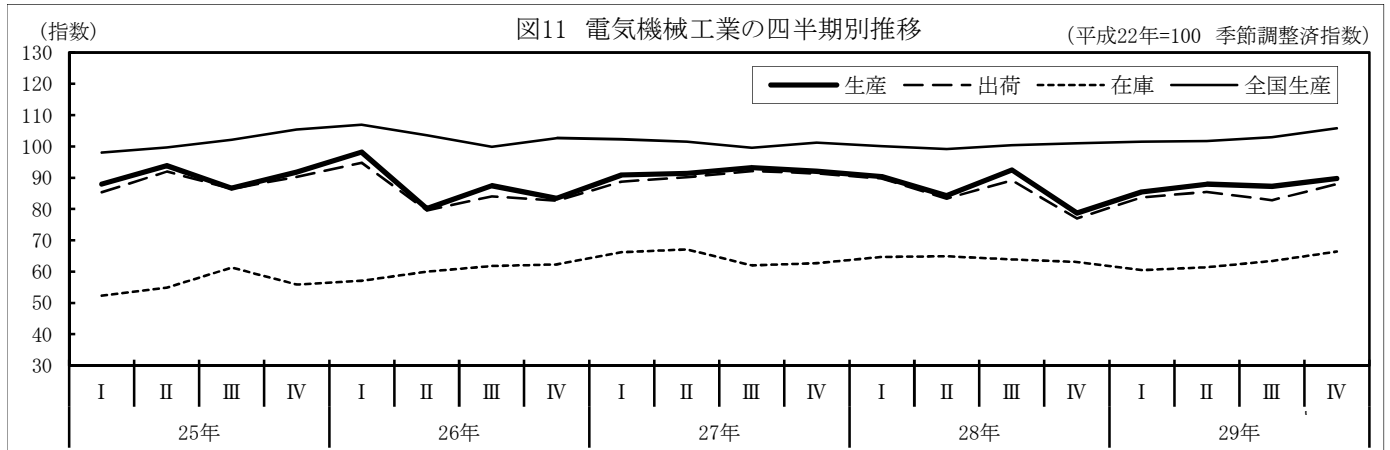
出荷指数(原指数)は、66.3で前年比18.0%上昇し、7年ぶりに上昇しました。
品目別にみると、モス型半導体集積回路(CCD)やモス型半導体集積回路(論理素子)などが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、2.5で前年末比47.1%上昇し、2年ぶりに上昇しました。
品目別にみると、モス型半導体集積回路(CCD)が増加しました。

<電気機械工業>

－生産、出荷とも2年ぶりの上昇－



<生産>

生産指数(原指数)は、86.9で前年比0.2%上昇し、2年ぶりに上昇しました。
品目別にみると、その他の電子応用装置や電気溶接機などが増加し、非標準変圧器などが減少しました。
また、全国の電気機械工業の生産指数(同)は、103.2で前年比3.1%上昇し、3年ぶりに上昇しました。

<出荷>

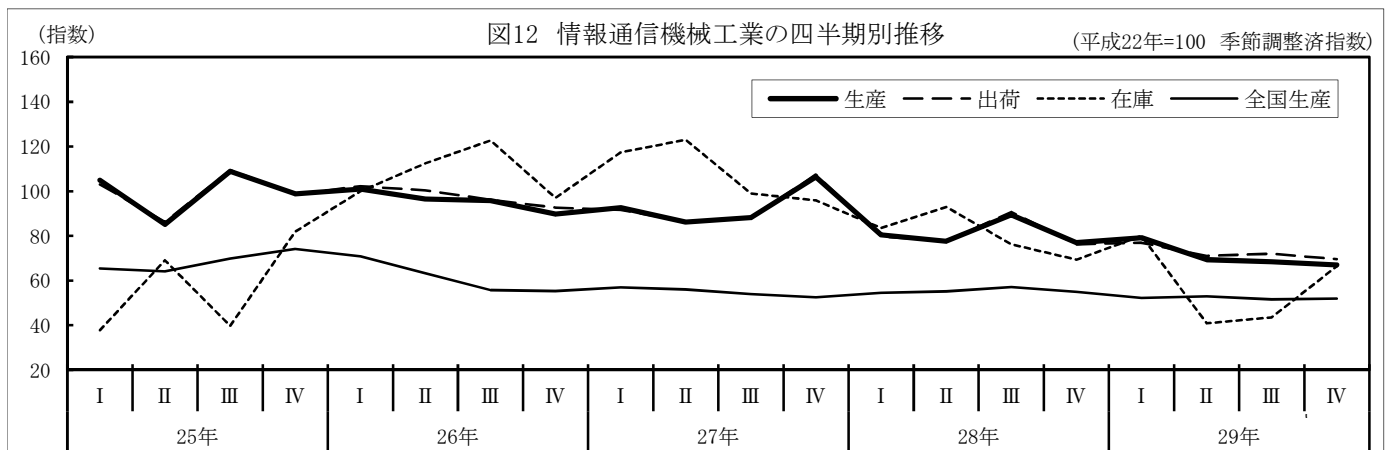
出荷指数(原指数)は、85.0で前年比0.2%上昇し、2年ぶりに上昇しました。
品目別にみると、その他の電子応用装置や電気溶接機などが増加し、非標準変圧器などが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、66.4で前年末比6.2%上昇し、3年ぶりに上昇しました。
品目別にみると、換気扇や自動車用照明器具などが増加し、蛍光ランプが減少しました。

<情報通信機械工業>

－生産、出荷とも4年連続の低下－



<生産>

生産指数(原指数)は、71.4で前年比12.0%低下し、4年連続して低下しました。
品目別にみると、パーソナルコンピュータや無線応用装置などが減少し、外部記憶装置などが増加しました。
また、全国の情報通信機械工業の生産指数(同)は、52.4で前年比5.2%低下し、2年ぶりに低下しました。

<出荷>

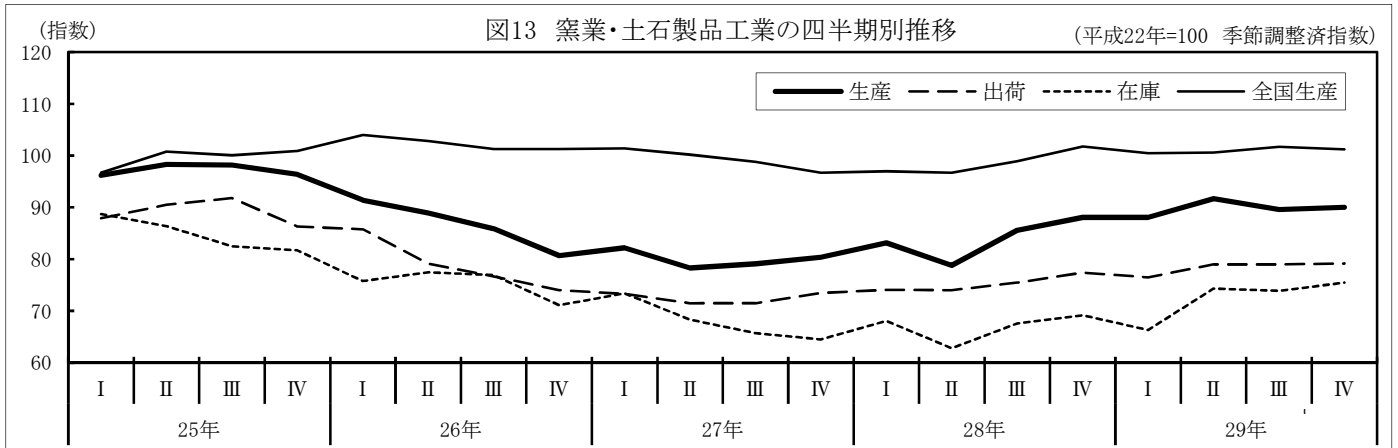
出荷指数(原指数)は、73.0で前年比9.9%低下し、4年連続して低下しました。
品目別にみると、無線応用装置やパーソナルコンピュータなどが減少し、外部記憶装置などが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、84.8で前年末比7.8%上昇し、3年ぶりに上昇しました。
品目別にみると、パーソナルコンピュータやガス警報器が増加し、陸上移動通信装置が減少しました。

<窯業・土石製品工業>

－生産、出荷とも2年連続の上昇－



<生産>

生産指数(原指数)は、90.1で前年比7.3%上昇し、2年連続して上昇しました。
品目別にみると、複層ガラスやガラス短繊維製品などが増加し、ガラス製容器類などが減少しました。
また、全国の窯業・土石製品工業の生産指数(同)は、101.1で前年比2.6%上昇し、3年ぶりに上昇しました。

<出荷>

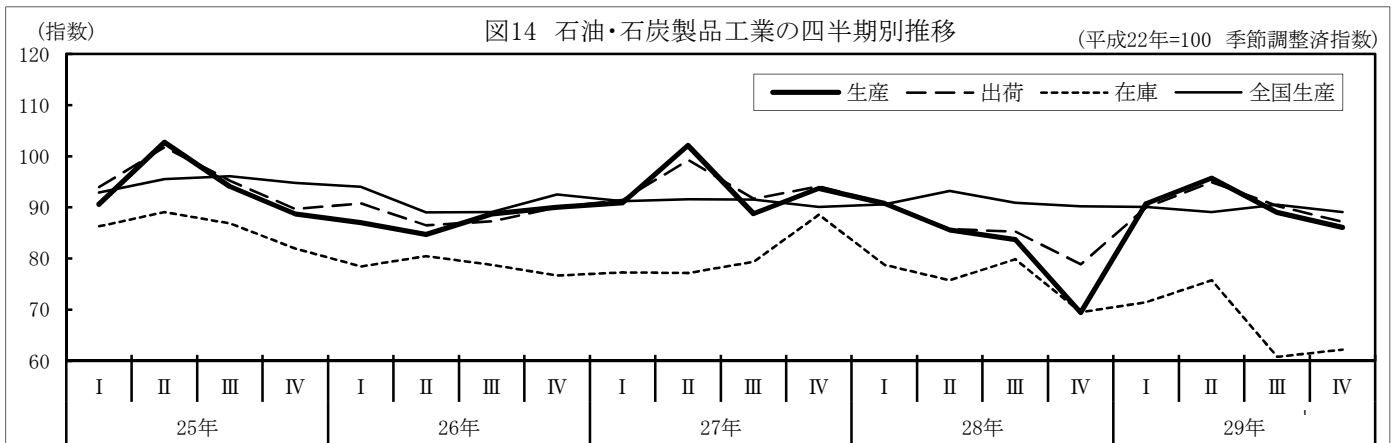
出荷指数(原指数)は、78.7で前年比4.5%上昇し、2年連続して上昇しました。
品目別にみると、安全ガラスや複層ガラスなどが増加し、ガラス製容器類などが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、73.2で前年末比9.4%上昇し、2年連続して上昇しました。
品目別にみると、ガラス製容器類や板ガラスなどが増加し、安全ガラスなどが減少しました。

<石油・石炭製品工業>

－生産、出荷とも2年ぶりの上昇－



<生産>

生産指数(原指数)は、90.4で前年比9.4%上昇し、2年ぶりに上昇しました。
品目別にみると、軽油やガソリンなどが増加し、コークスなどが減少しました。
また、全国の石油・石炭製品工業の生産指数(同)は、89.6で前年比2.0%低下し、2年ぶりに低下しました。

<出荷>

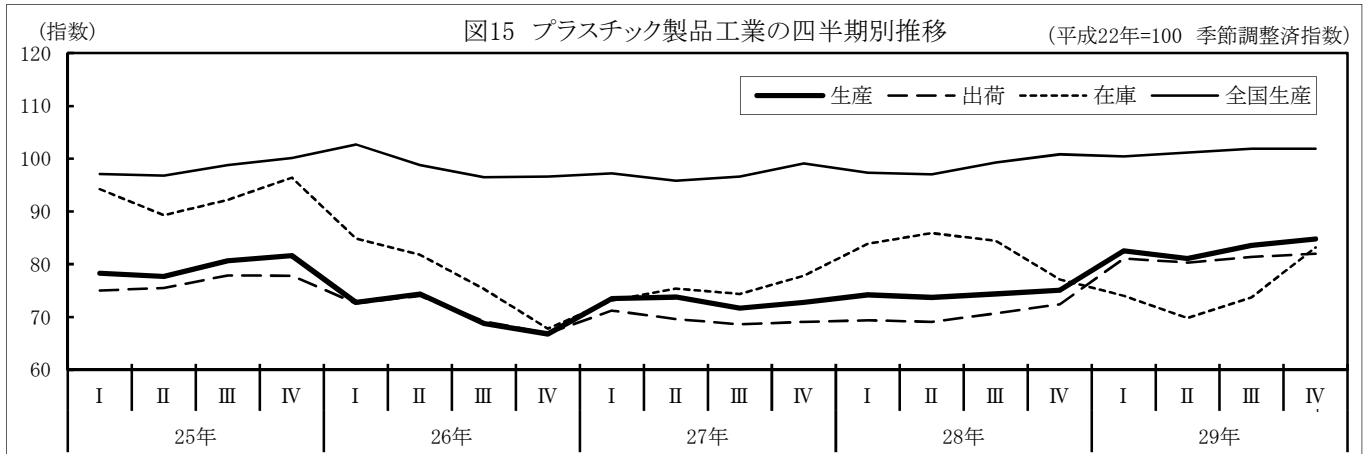
出荷指数(原指数)は、90.5で前年比5.7%上昇し、2年ぶりに上昇しました。
品目別にみると、軽油やガソリンなどが増加し、C重油などが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、58.3で前年末比11.1%低下し、2年連続して低下しました。
品目別にみると、ガソリンや潤滑油などが減少し、軽油などが増加しました。

<プラスチック製品工業>

－生産は3年連続の上昇、出荷は2年連続の上昇－



<生産>

生産指数(原指数)は、83.3で前年比11.8%上昇し、3年連続して上昇しました。

品目別にみると、プラスチック製機械器具部品やプラスチック製パイプが増加し、プラスチック製容器などが減少しました。

また、全国のプラスチック製品工業の生産指数(同)は、101.4で前年比2.8%上昇し、2年連続して上昇しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、81.6で前年比15.9%上昇し、2年連続して上昇しました。

品目別にみると、プラスチック製機械器具部品やプラスチック製パイプが増加し、プラスチック製フィルム・シートなどが減少しました。

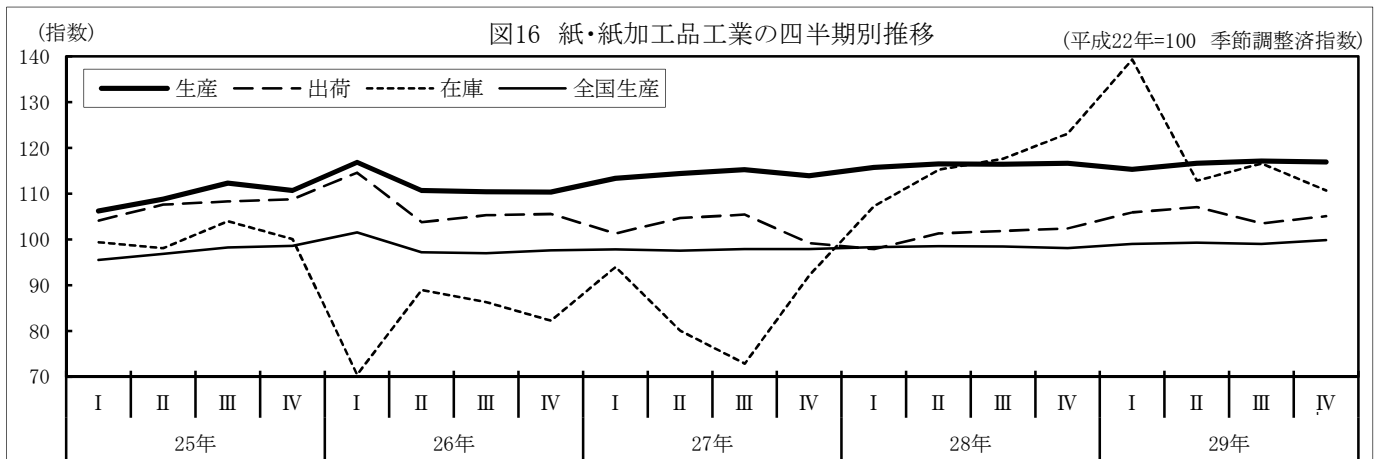
<在庫>

在庫指数(原指数)は、80.7で前年末比9.5%上昇し、2年ぶりに上昇しました。

品目別にみると、プラスチック製機械器具部品やプラスチック製フィルム・シートが増加し、プラスチック製容器などが減少しました。

<紙・紙加工品工業>

－生産は8年連続の上昇、出荷は4年ぶりの上昇－



<生産>

生産指数(原指数)は、116.6で前年比0.3%上昇し、8年連続して上昇しました。

品目別にみると、衛生用紙が増加し、段ボールシートが減少しました。

また、全国のパルプ・紙・紙加工品工業の生産指数(同)は、99.3で前年比1.0%上昇し、2年連続して上昇しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、105.7で前年比4.7%上昇し、4年ぶりに上昇しました。

品目別にみると、衛生用紙や段ボールシートが増加しました。

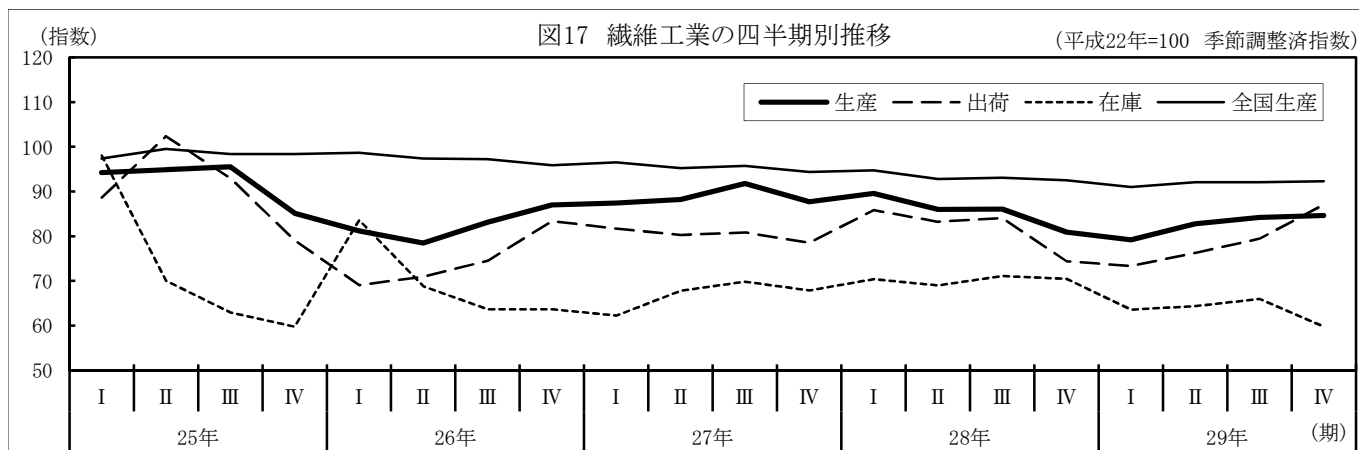
<在庫>

在庫指数(原指数)は、98.1で前年末比9.8%低下し、3年ぶりに低下しました。

品目別にみると、衛生用紙や段ボールシートが減少しました。

<繊維工業>

—生産は2年連続の低下、出荷は3年ぶりの低下—



<生産>

生産指数(原指数)は、82.8で前年比3.7%低下し、2年連続して低下しました。
品目別にみると、合成繊維やニット・織物製外衣が減少し、不織布などが増加しました。
また、全国の繊維工業の生産指数(同)は、91.9で前年比1.5%低下し、6年連続して低下しました。

<出荷>

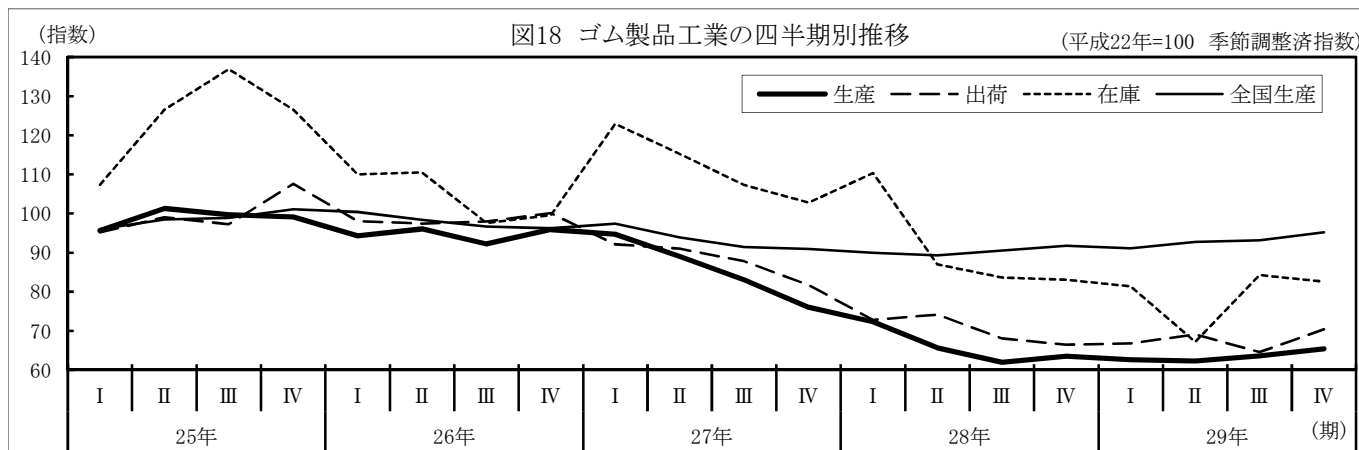
出荷指数(原指数)は、78.3で前年比3.9%低下し、3年ぶりに低下しました。
品目別にみると、合成繊維やニット・織物製外衣が減少し、不織布などが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、69.3で前年末比14.9%低下し、3年ぶりに低下しました。
品目別にみると、合成繊維や不織布などが減少しました。

<ゴム製品工業>

—生産、出荷とも5年連続の低下—



<生産>

生産指数(原指数)は、63.5で前年比3.9%低下し、5年連続して低下しました。
品目別にみると、工業用ゴム製品やコンベヤベルトが減少し、ゴムホースが増加しました。
また、全国のゴム製品工業の生産指数(同)は、93.0で前年比2.8%上昇し、7年ぶりに上昇しました。

<出荷>

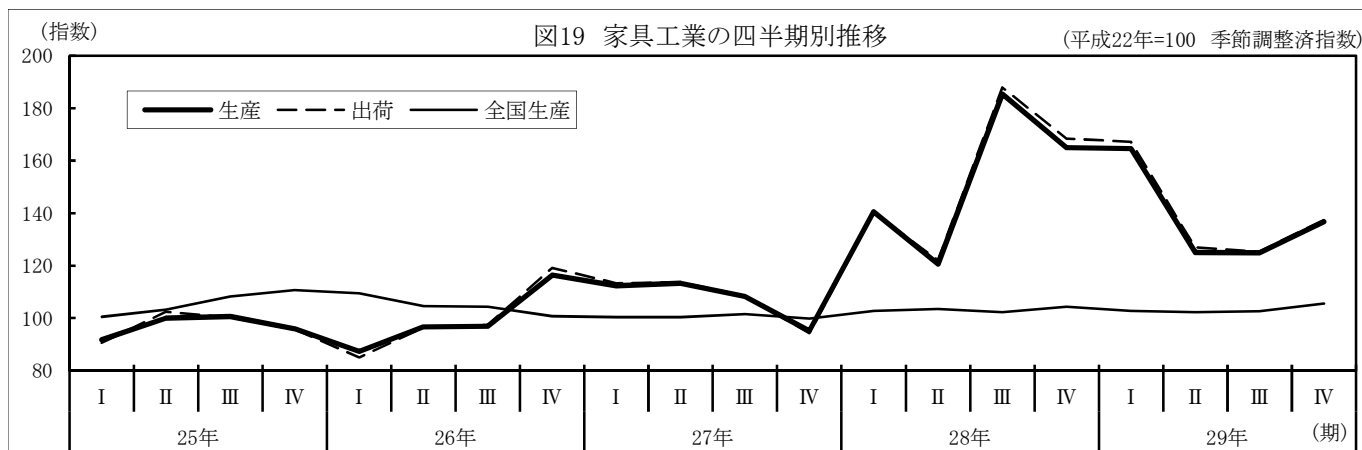
出荷指数(原指数)は、67.0で前年比5.2%低下し、5年連続して低下しました。
品目別にみると、工業用ゴム製品やゴムホースなどが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、73.7で前年末比0.8%上昇し、2年ぶりに上昇しました。
品目別にみると、ゴムホースが増加し、工業用ゴム製品などが減少しました。

<家具工業>

—生産、出荷とも4年ぶりの低下—



<生産>

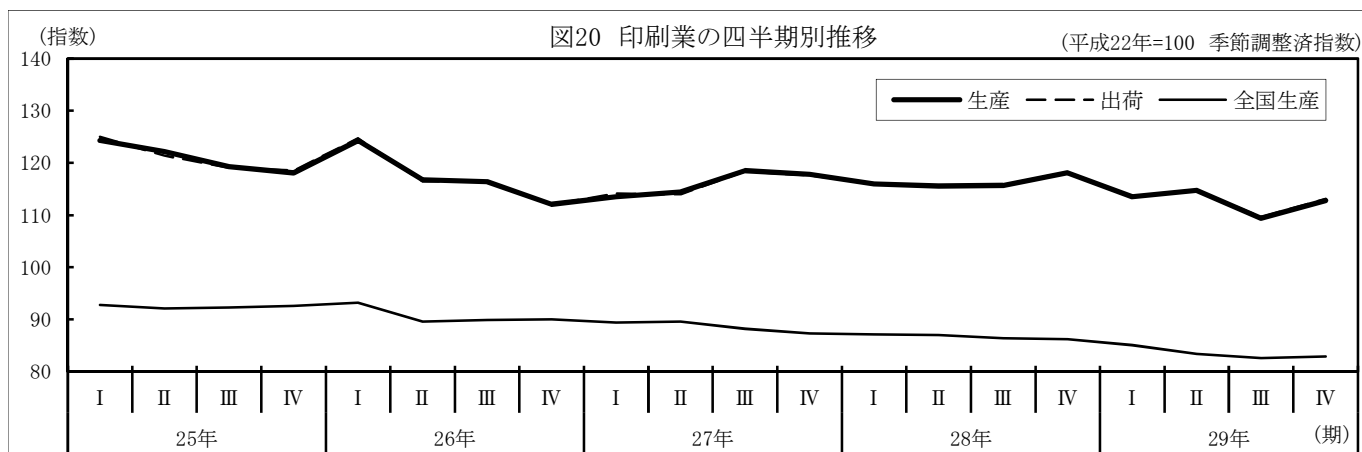
生産指数(原指数)は、140.1で前年比7.9%低下し、4年ぶりに低下しました。
品目別にみると、その他の金属製家具や金属製いすなどが減少し、システムキッチンが増加しました。
また、全国の家具工業の生産指数(同)は、103.4で前年比0.2%上昇し、2年連続して上昇しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、141.5で前年比7.9%低下し、4年ぶりに低下しました。
品目別にみると、その他の金属製家具や金属製いすなどが減少し、システムキッチンが増加しました。

<印刷業>

—生産、出荷とも2年ぶりの低下—



<生産>

生産指数(原指数)は、112.5で前年比3.3%低下し、2年ぶりに低下しました。
品目別にみると、包装印刷や出版印刷などが減少し、その他の印刷などが増加しました。
また、全国の印刷業の生産指数(同)は、83.5で前年比3.7%低下し、5年連続して低下しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、112.5で前年比3.3%低下し、2年ぶりに低下しました。
品目別にみると、包装印刷や出版印刷などが減少し、その他の印刷などが増加しました。

3 財別の出荷動向

－ 最終需要財は2年ぶりの上昇、生産財は7年ぶりの上昇 －

平成29年の出荷動向を特殊分類による財別でみると、**最終需要財出荷指数**（原指数）は、91.6で前年比3.5%上昇し、2年ぶりに上昇しました。

また、**生産財出荷指数**（原指数）は、82.7で前年比6.4%上昇し、7年ぶりに上昇しました。

これらの財を四半期別（季節調整済指数）にみると、最終需要財は、Ⅰ期は前期比7.1%上昇、Ⅱ期は同3.4%低下、Ⅲ期も同2.0%低下、Ⅳ期も同2.5%低下しました。生産財は、Ⅰ期は前期比5.4%上昇、Ⅱ期も同2.6%上昇、Ⅲ期も同0.7%上昇、Ⅳ期は同2.8%低下しました。

（1）最終需要財

ア 投資財（資本財・建設財）

資本財出荷指数（原指数）は、97.5で前年比0.3%低下し、2年連続して低下しました。

品目別にみると、無線応用装置やパーソナルコンピュータなどが減少し、フラットパネル・ディスプレイ製造装置などが増加しました。

建設財出荷指数（原指数）は、91.0で前年比3.3%上昇し、4年ぶりに上昇しました。

品目別にみると、エレベータや複層ガラスなどが増加し、普通鋼棒鋼などが減少しました。

イ 消費財（耐久消費財・非耐久消費財）

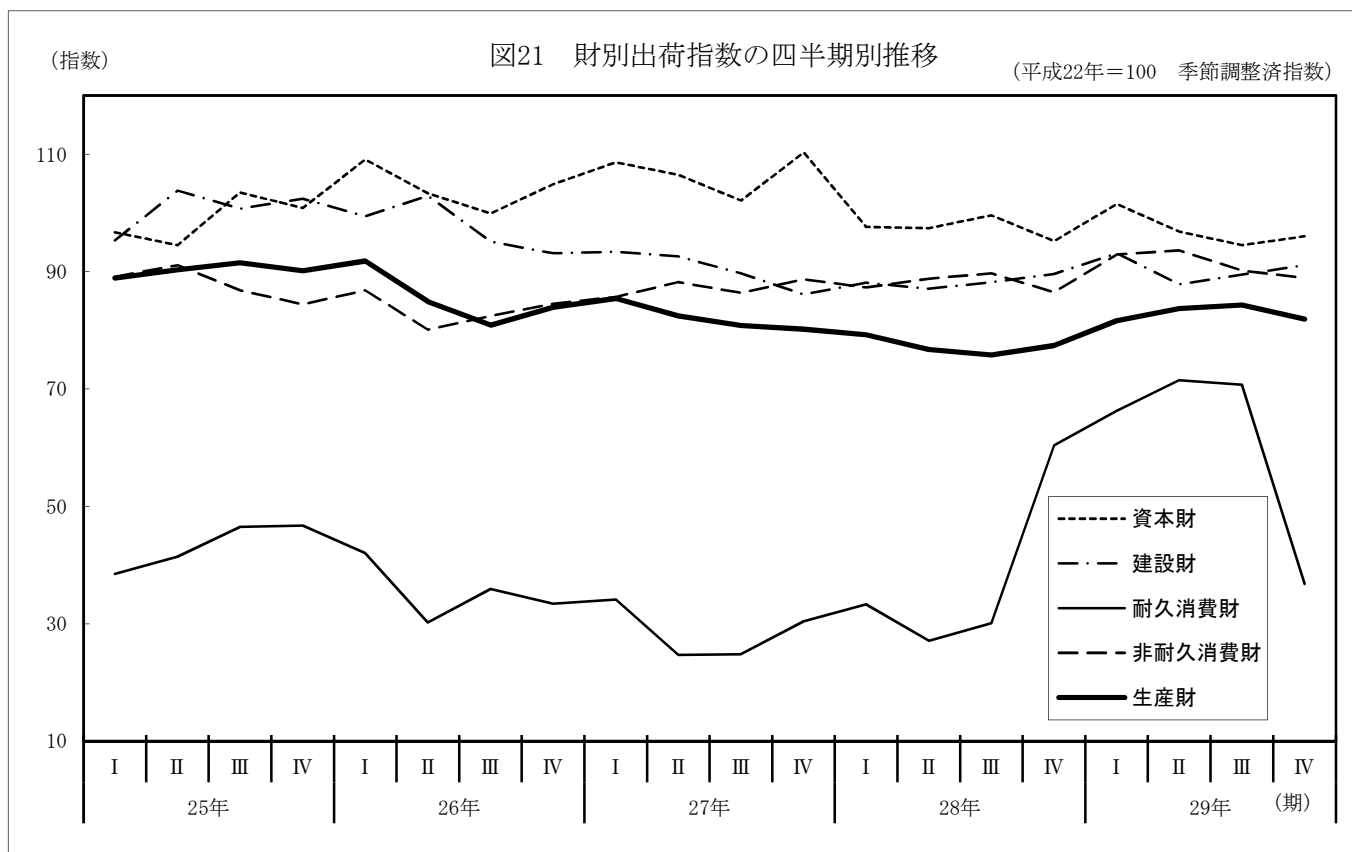
耐久消費財出荷指数（原指数）は、60.1で前年比50.3%上昇し、2年連続して上昇しました。品目別にみると、小型乗用車や普通乗用車などが増加し、パーソナルコンピュータが減少しました。

非耐久消費財出荷指数（原指数）は、91.5で前年比3.9%上昇し、3年連続して上昇しました。品目別にみると、化粧品やガソリンなどが増加し、合成洗剤などが減少しました。

（2）生産財

品目別にみると、エンジン（自動車用）やプラスチック製機械器具部品などが増加し、機体部品・付属装置などが減少しました。

（P19表9、表10参照）



（特殊分類についてはP83、P85表11参照）

表 9

財別出荷指数の対前年・対前期増減率

(平成22年=100)

財	年・期	平成26年	27年	28年	29年	29年				
						IV	I	II	III	IV
製造工業	指数	87.7	86.6	83.0	87.0	83.2	88.4	87.7	87.1	84.9
	対前年(期)増減率%	△ 2.7	△ 1.3	△ 4.2	4.8	1.1	6.3	△ 0.8	△ 0.7	△ 2.5
最終需要財	指数	90.3	91.3	88.5	91.6	88.9	95.2	92.0	90.2	87.9
	対前年(期)増減率%	0.3	1.1	△ 3.1	3.5	0.0	7.1	△ 3.4	△ 2.0	△ 2.5
投資財	指数	103.4	104.0	96.5	96.7	94.4	100.3	95.5	93.7	95.4
	対前年(期)増減率%	4.4	0.6	△ 7.2	0.2	△ 3.8	6.3	△ 4.8	△ 1.9	1.8
資本財	指数	104.3	106.0	97.8	97.5	95.2	101.5	96.8	94.5	96.0
	対前年(期)増減率%	5.7	1.6	△ 7.7	△ 0.3	△ 4.4	6.6	△ 4.6	△ 2.4	1.6
建設財	指数	97.5	90.3	88.1	91.0	89.6	93.1	87.8	89.5	91.1
	対前年(期)増減率%	△ 3.0	△ 7.4	△ 2.4	3.3	1.6	3.9	△ 5.7	1.9	1.8
消費財	指数	73.3	74.8	78.0	84.9	81.5	88.4	87.5	86.1	77.6
	対前年(期)増減率%	△ 6.5	2.0	4.3	8.8	5.2	8.5	△ 1.0	△ 1.6	△ 9.9
耐久消費財	指数	35.5	28.8	40.0	60.1	60.4	66.3	71.5	70.7	36.8
	対前年(期)増減率%	△ 18.2	△ 18.9	38.9	50.3	100.7	9.8	7.8	△ 1.1	△ 47.9
非耐久消費財	指数	83.4	87.1	88.1	91.5	86.5	92.9	93.6	90.2	88.9
	対前年(期)増減率%	△ 5.0	4.4	1.1	3.9	△ 3.6	7.4	0.8	△ 3.6	△ 1.4
生産財	指数	85.3	82.2	77.7	82.7	77.4	81.6	83.7	84.3	81.9
	対前年(期)増減率%	△ 5.4	△ 3.6	△ 5.5	6.4	2.1	5.4	2.6	0.7	△ 2.8

*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

表 10

財別出荷指数の上昇又は低下に寄与した主要品目

財	対前年増減率%	寄与度(ポイント)	上昇又は低下に寄与した主な品目		
			増	減	
上昇	生産財	6.4	3.08	増	エンジン(自動車用)、プラスチック製機械器具部品、軽油など
				減	機体部品・付属装置、食缶など
	耐久消費財	50.3	1.09	増	小型乗用車、普通乗用車、石油機器など
				減	パーソナルコンピュータ
	非耐久消費財	3.9	0.69	増	化粧品、ガソリン、医薬品など
				減	合成洗剤、日用品・雑貨プラスチック製品など
	建設財	3.3	0.13	増	エレベータ、複層ガラス、換気扇など
				減	普通鋼棒鋼、プラスチック製板など
低下	資本財	△ 0.3	△ 0.09	増	フラットパネル・ディスプレイ製造装置、その他の電子応用装置など
				減	無線応用装置、パーソナルコンピュータ、デジタル伝送装置など

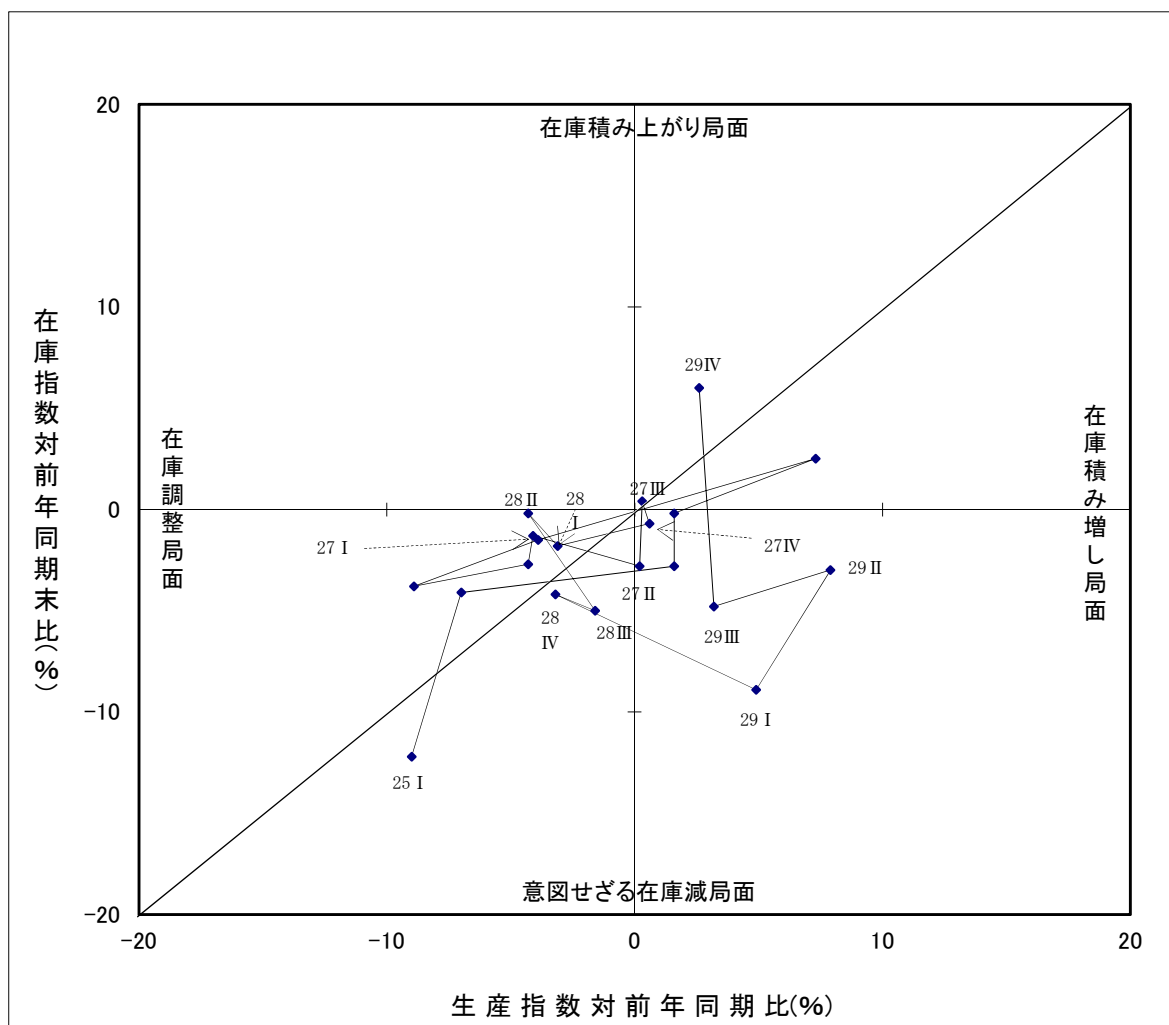
<参考> 在庫循環図

平成29年Ⅰ期の生産指数（原指数）は前年同期比4.9%上昇し、在庫指数（同）は前年同期末比8.9%低下しました。Ⅱ期の生産指数（同）は前年同期比7.9%上昇し、在庫指数（同）は前年同期末比3.0%低下しました。Ⅲ期の生産指数（同）は前年同期比3.2%上昇し、在庫指数（同）は前年同期末比4.8%低下しました。Ⅳ期の生産指数（同）は前年同期比2.6%上昇し、在庫指数（同）は前年同期末比6.0%上昇しました。

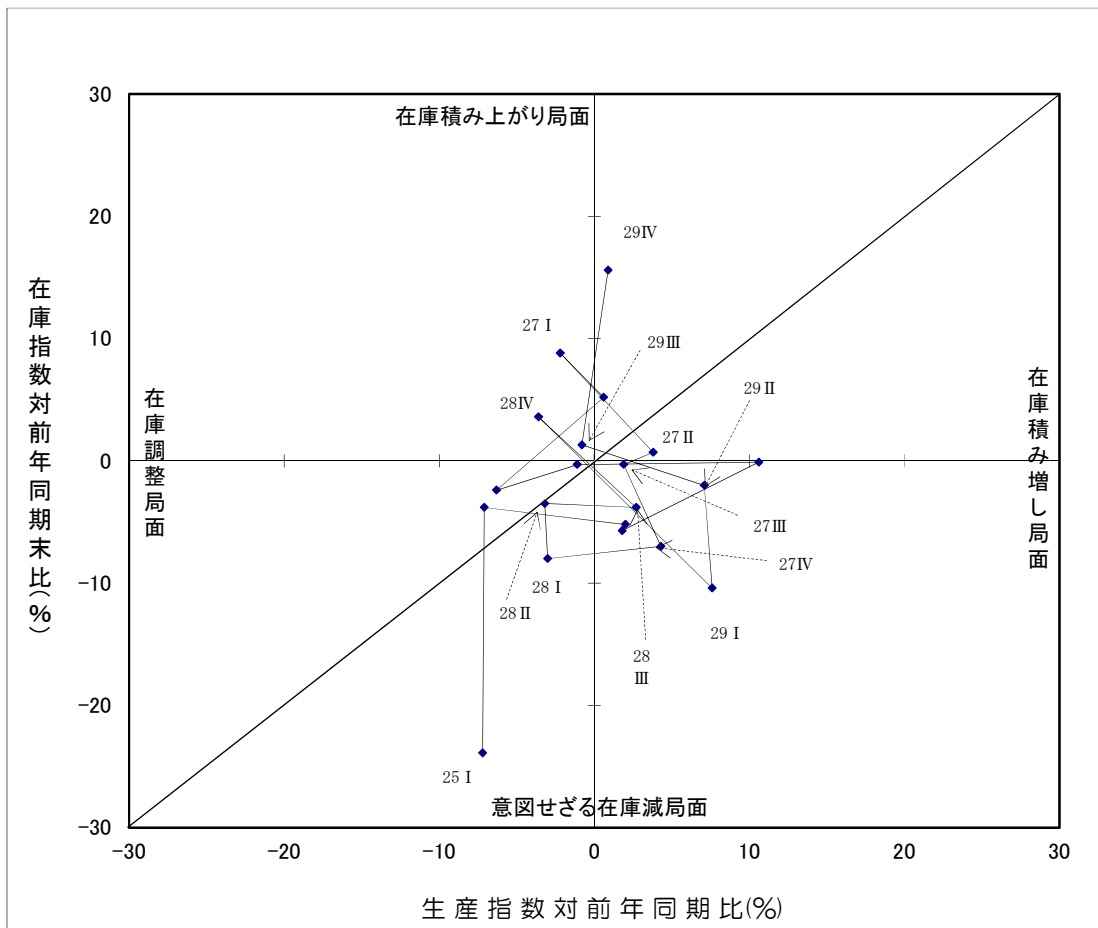
※在庫循環図の見方（生産と在庫について、以下のような循環が見られる場合が多い。）

- 意図せざる在庫減局面：需要が予測を上回り、一時的に在庫が減少する。
- 在庫積み増し局面：生産を増加させて、在庫を積み増している。
- 在庫積み上がり局面：需要が予測を下回り、在庫が積みあがってしまう。
- 在庫調整局面：生産を縮小し、積みあがった在庫を減らしている。

製造工業



最終需要財



生産財

